

2018

Report on Test Takers Worldwide

TOEIC[®]
SPEAKING
&
WRITING
TESTS



目次

TOEIC®バックグラウンドアンケート	3
2018年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴	4
国・地域別 TOEIC® Speaking Test 平均スコア	5
TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計	7
性別	12
学歴	13
専攻科目	14
就業状況	15
業種	16
職種	19
英語学習期間	20
英語学習の際に最も重要視する言語技能	21
日常生活での英語使用率	22
最も使用する言語技能	23
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	24
英語圏滞在経験	25
英語圏滞在目的	26
TOEIC® Speaking Test 受験経験	27
TOEIC® Speaking Test 受験目的	28
2018年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴	29
国・地域別 TOEIC® Writing Test 平均スコア	30
TOEIC® Writing Test カテゴリー別集計	32
性別	37
学歴	38
専攻科目	39
就業状況	40
業種	41
職種	44
英語学習期間	45
英語学習の際に最も重要視する言語技能	46
日常生活での英語使用率	47

最も使用する言語技能.....	48
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度.....	49
英語圏滞在経験.....	50
英語圏滞在目的.....	51
TOEIC® Writing Test の受験経験.....	52
TOEIC® Writing Test 受験目的.....	53
スピーキングスコアとライティングスコアの関連性.....	53
資料 A TOEIC®バックグラウンドアンケート.....	54
資料 B1 2018 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率.....	56
資料 B2 2018 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各質問項目の回答率.....	57
資料 C 地域別スピーキング・ライティングスコアの相関値.....	58

TOEIC®バックグラウンドアンケート

TOEIC®バックグラウンドアンケートは、TOEIC® Speaking & Writing Test（以下、TOEIC S&W）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、そして TOEIC S&W 受験歴についての情報を収集する自己記入式調査です。アンケートへの回答から、受験者のバックグラウンドや、受験者の TOEIC S&W のスコアと英語能力の向上に影響する要因がわかります。受験者は、TOEIC S&W を受ける前に、TOEIC バックグラウンドアンケートに回答します。

バックグラウンドアンケートの設問は添付資料 A を参照ください。

本報告書は 2018 年に世界において全受験者が回答した TOEIC バックグラウンドアンケート結果に基づいています。

回答率は質問項目によって異なっており、また、スピーキングとライティングでは回答率にかなりの違いがありました（添付資料 B1 と添付資料 B2 を参照ください）。このため、本データに基づいた推測を行う際には以下についてご注意下さい。

受験者は、TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を同時に受けることも、どちらかのテストを単独で受けることもできます。本報告書は、異なる受験母集団に基づいてスピーキング、ライティングそれぞれの質問項目別にスコアに関する情報をまとめたものです。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（％）は小数点以下を調整し整数値で表示しているため、合計値が 100% を超える場合があります。また表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 50 以上のものに限定しています。

2018年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴

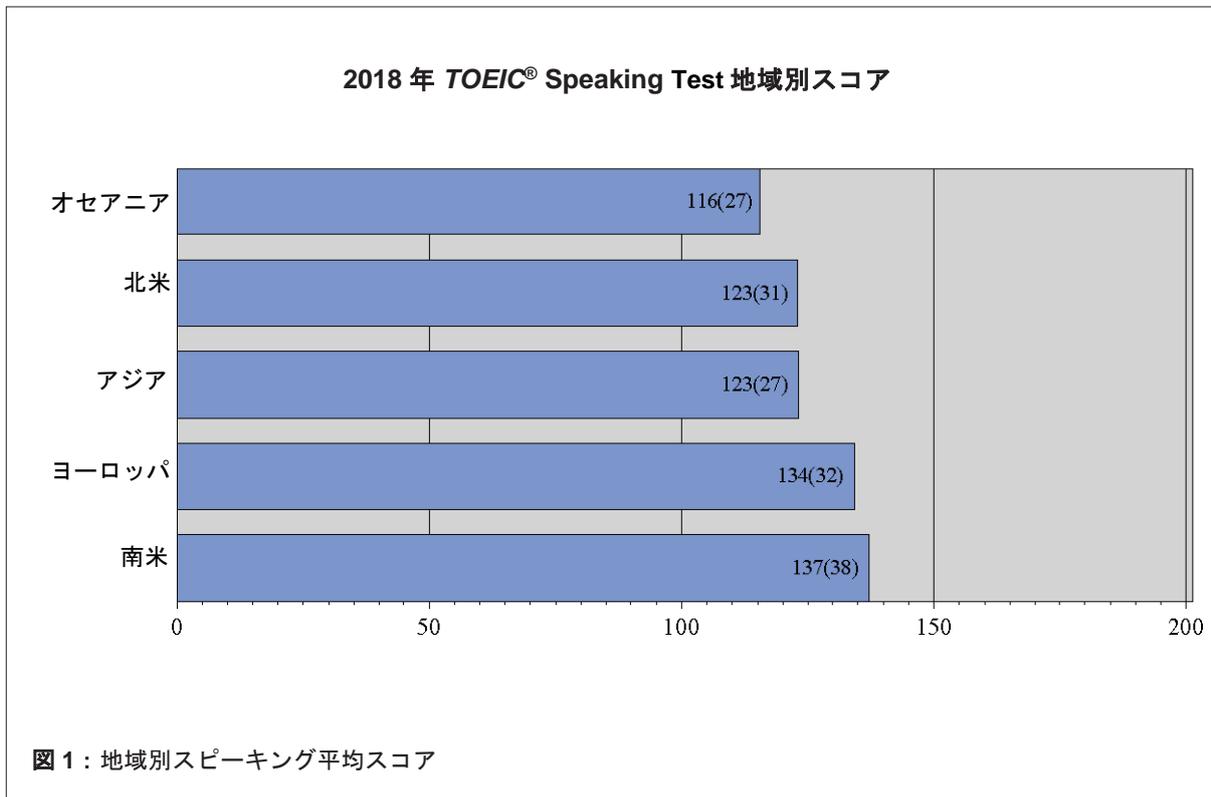
バックグラウンド情報は、公開テスト制度または団体特別受験制度で、2018年 TOEIC® Speaking Test を受けた受験者（TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を受けた受験者、TOEIC® Speaking Test のみを受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 性別では 57%が男性
- 学歴（最終学歴もしくは受験時在学）で最も多いのは大学卒または大学在学中（73%）
- 専攻で最も多いのは「工学」で 39%、「教養学」は 19%、「経営学」は 15%
- 38%が「フルタイム勤務者」で、41%は「全日制学生」
- 就業者の業種では 38%が「製造業」で、24%が「サービス業」
- 職種では 22%が「事務職」、16%が「技術者」、14%が「科学／技術職」
- 84%が「6年以上の英語学習経験有」
- 英語学習において最も重視される技能として、42%が「リスニング、リーディング、スピーキングおよびライティング」を選択
- 39%が「日常生活において英語を使用する割合は 1～10%」と回答
- 最も頻繁に使用する英語技能として、23%が「リスニングとスピーキング」を選択
- 47%が英語でのやりとりに「時々苦勞する」と回答
- 20%が「6ヶ月以上の英語圏滞在経験者」
- 英語圏滞在目的として 38%が「旅行」、28%が「語学プログラムへの参加」と回答
- 41%が「受験経験なし」、26%が「3回以上の受験経験あり」
- 受験目的は 51%が「就職活動のため」、21%が「昇進・昇格のため」と回答

国・地域別 TOEIC® Speaking Test 平均スコア

以下の図 1 は、国・地域別の TOEIC® Speaking Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 1 には受験者の母国別の平均スコアを集計しています。よって、受験者が TOEIC® Speaking Test を受験した国・地域とは

必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC® Speaking Test 受験者が 50 名以上の国のみ掲載されています。



*注：各チャートには受験者が 50 名以上の国のみ掲載されています。メキシコは北米に含みます。

表 1 : 国別平均スコア

国名	スピーキング	
	平均	(SD)*
アルゼンチン	162	(29)
ブラジル	118	(42)
チリ	119	(38)
中国	114	(26)
コロンビア	143	(26)
コスタリカ	116	(32)
エクアドル	158	(27)
エルサルバドル	130	(22)
フランス	144	(28)
ドイツ	160	(25)
ハンガリー	166	(30)
インド	69	(34)
インドネシア	142	(24)
イタリア	140	(24)
日本	111	(32)
韓国	125	(25)
メキシコ	139	(22)
ニュージーランド	116	(27)
パナマ	117	(22)
フィリピン	151	(19)
シンガポール	116	(26)
スペイン	127	(32)
台湾	139	(23)
タイ	108	(37)
トルコ	130	(33)
アラブ首長国連邦	132	(27)
米国	134	(28)
ベトナム	114	(28)

*SD=標準偏差

TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計

表 2 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC® Speaking Test 受験者の人数割合 (%) と TOEIC スピーキング平均スコアを示しています。各カテゴリーの受験者の詳細な情報は表 2 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
性別	女性	43.0	129	(27)
	男性	57.0	120	(26)
学歴	小学校	1.1	119	(31)
	中学校	0.5	115	(31)
	高校	3.4	118	(33)
	高専	0.4	116	(28)
	専門学校	0.5	115	(32)
	短大	5.5	110	(30)
	大学	73.1	128	(24)
	大学院	12.4	126	(25)
	語学学校	3.3	123	(25)
専攻科目	教養学	19.1	132	(27)
	社会学	7.2	134	(25)
	経営学	15.4	131	(26)
	科学	6.8	124	(25)
	医療関連	2.0	128	(26)
	工学	38.9	120	(23)
	その他	10.6	121	(28)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	38.1	121	(27)
	パートタイム勤務者	4.1	128	(29)
	非就業者	16.4	128	(23)
	全日制学生	41.4	129	(25)
業種	農業	2.1	118	(30)
	建設	7.2	118	(25)
	食品	1.5	121	(29)
	医薬品	1.1	123	(25)
	化学	4.2	119	(25)
	繊維	0.3	120	(31)
	石油	0.5	127	(23)
	金属	3.3	125	(23)
	機械	5.5	115	(24)
	電機	10.7	114	(23)
	自動車	4.2	115	(28)
	ガラス	0.2	119	(23)
	アパレル	1.0	125	(28)
	その他製造	5.1	115	(26)
	教育機関 (高校以下)	2.2	140	(25)
	教育機関 (大学以上)	1.5	144	(27)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	スピーキング	
		平均	(SD)*
業種 (続き)	政府/役所/公益団体	1.0	131 (25)
	国際団体	0.3	139 (26)
	軍隊/自衛隊	2.1	125 (26)
	医療	1.3	122 (27)
	旅行	5.5	124 (26)
	その他サービス	10.4	127 (27)
	公共事業 (電気/ガス)	3.5	124 (25)
	マスコミ	1.1	133 (29)
	通信	2.2	117 (25)
	小売/卸し	1.4	111 (35)
	商社	2.4	129 (27)
	金融	3.1	129 (25)
	保険	0.5	129 (28)
	不動産	0.3	121 (29)
	運輸	1.8	129 (26)
	その他	12.5	120 (29)
職種	経営者	8.9	127 (28)
	科学/技術職	14.1	117 (24)
	教師/講師	3.9	141 (28)
	専門職	2.7	130 (26)
	技術者	16.2	114 (25)
	マーケティング/販売	8.5	121 (30)
	事務職	22.4	121 (27)
	サービス業	12.3	126 (25)
	その他	11.1	122 (28)
英語学習期間	4年以下	8.4	112 (30)
	4~6年	8.1	120 (27)
	6~10年	23.4	123 (25)
	10年超	60.1	129 (24)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
最も重視する言語技能	リスニング	5.9	120	(27)
	リーディング	2.9	124	(27)
	スピーキング	15.5	123	(25)
	ライティング	0.6	128	(30)
	リスニング&スピーキング	31.2	123	(25)
	リーディング&ライティング	2.2	130	(27)
	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	41.6	129	(26)
日常生活での英語 使用率	なし	7.3	119	(28)
	1~10%	38.8	122	(25)
	11~20%	30.4	126	(24)
	21~50%	16.9	130	(25)
	51~100%	6.6	137	(27)
最も使用する英語技能	リスニング	9.5	124	(27)
	リーディング	20.4	125	(25)
	スピーキング	12.1	123	(26)
	ライティング	2.3	123	(28)
	リスニング&スピーキング	22.7	124	(25)
	リーディング&ライティング	11.0	127	(25)
	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	22.0	129	(26)
英語でのコミュニケーションに 苦勞する頻度	ほとんどない	5.5	133	(34)
	あまりない	13.3	135	(28)
	時々	47.1	128	(23)
	頻繁にある	23.8	120	(22)
	ほぼ常時	10.2	112	(26)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	52.1	121	(25)
	6ヶ月未満	27.9	125	(23)
	6ヶ月～12ヶ月	9.3	133	(23)
	1年～2年	4.7	139	(24)
	2年超	6.1	147	(28)
英語圏滞在目的	進学のため	12.7	149	(25)
	英語学習プログラム参加のため	27.8	132	(22)
	旅行のため	37.5	125	(23)
	仕事のため	13.1	121	(26)
	その他	8.8	140	(28)
TOEIC S&W 受験回数	なし	41.0	127	(28)
	1回	21.9	127	(25)
	2回	11.5	126	(24)
	3回以上	25.7	122	(23)
TOEIC S&W 受験目的	就職活動のため	51.3	129	(23)
	昇進・昇格のため	20.9	117	(26)
	英語学習プログラムの結果を測るため	5.4	126	(28)
	英語学習のため	12.6	127	(27)
	卒業に必要なため	9.8	124	(28)
	ビザ取得のため	0.0	132	(31)

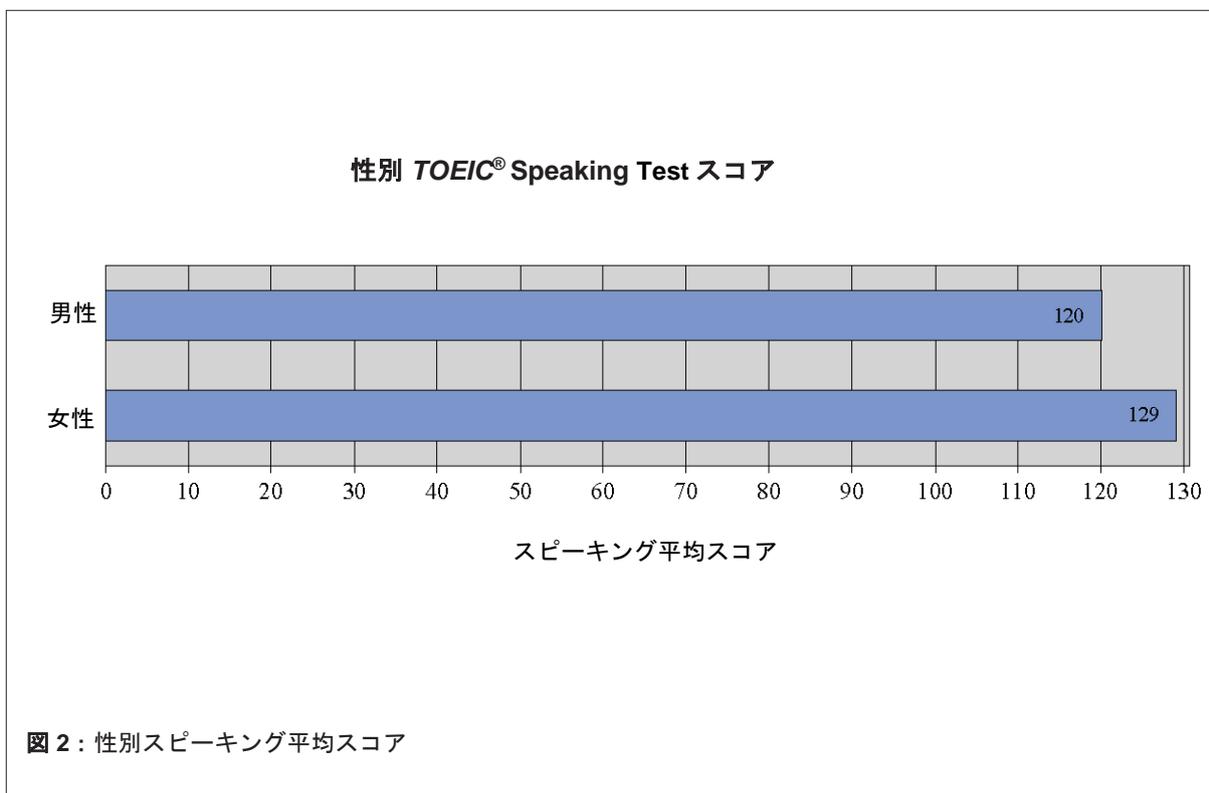
*SD=標準偏差

性別

全体として、TOEIC® Speaking Test 受験者は男性の割合が高くなっています（表 2 参照）。男性受験者が多い国・地域は、アラブ首長国連邦（88%）、トルコ（83%）、フィリピン（61%）、ニュージーランド、韓国とタイ（57%）、ドイツと台湾（55%）などです。

一部、女性の受験者割合が男性より高い国がありました。ベトナム（59%）、パナマ（56%）、フランス（55%）、コスタリカ、エルサルバドルとイタリア（54%）などです。スペインでは男性と女性の割合がまったく同じでした。

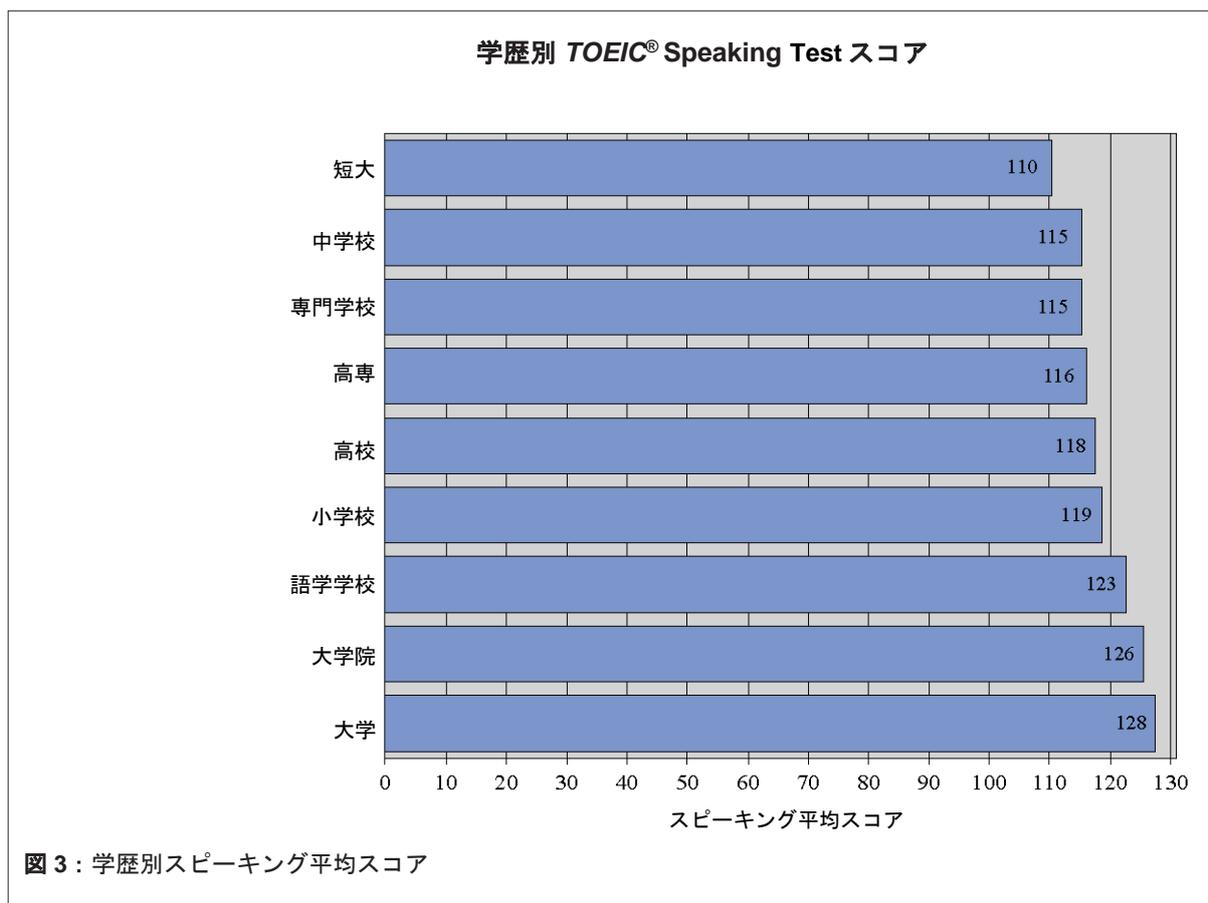
図 2 が示すように、スピーキング平均スコアでは女性が男性を上回りました。



学歴

受験者の多く（73%）はバックグラウンドアンケート回答時点の学歴が、「大学卒（学士取得）または大学在学中」でした。「大学卒または大学在学中」の割合は女性（73%）と男性（74%）でほぼ同じでした。一方、女性（10%）よりも男性（15%）の方が「大学院卒または大学院在学中」の割合が高くなりました。

国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に国別で比較することはできませんが、フィリピン（91%）、韓国（76%）、メキシコ（74%）、アラブ首長国連邦（68%）、トルコ（67%）は「大学卒」の受験者の割合が高いのに対し、イタリア（46%）、フランス（39%）、中国と台湾（36%）は「大学院卒または大学院在学中」の受験者の割合が高くなっています。ニュージーランド（72%）とシンガポール（51%）は「高校卒」の割合が最も高くなりました。エルサルバドル（96%）とパナマ（95%）は「小学校卒」の受験者の割合が最も高くなりました。

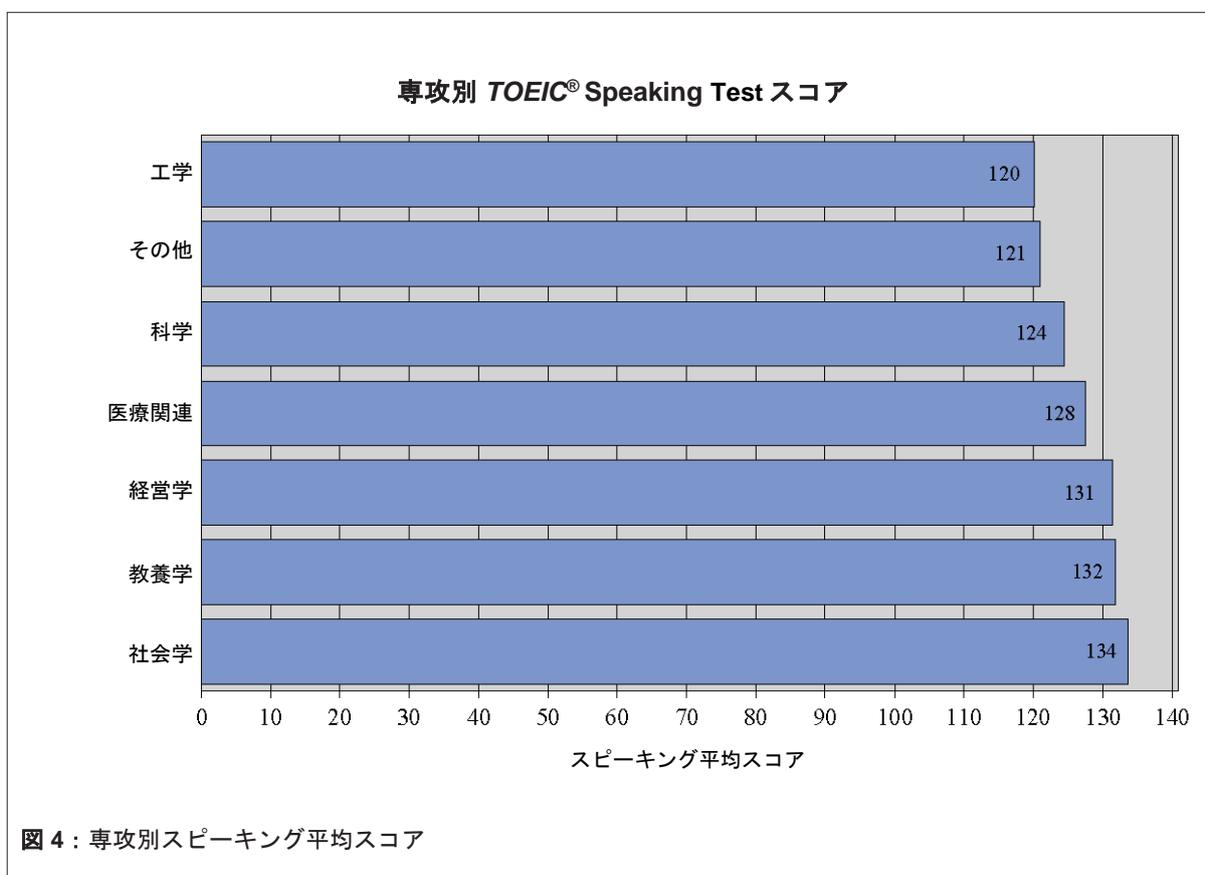


専攻科目

受験者の専攻科目で最も多かったのが「工学」(39%)でした。「工学」専攻の受験者の割合が特に高いのはアラブ首長国連邦(68%)とフィリピン(59%)です。2番目に多い専攻科目は「教養学(19%)」、3番目に多いのは「経営学(15%)」でした。「教養学」専攻の受験者の割合が最も高いのはエルサルバドル(99%)、パナマ(97%)、ベトナム(51%)です。

経営専攻の割合が高い国はフランス(40%)、タイ(32%)、ドイツと中国(31%)などでした。

全体として、教養学専攻は男性(10%)よりも女性(31%)の割合が高く、工学専攻は女性(18%)よりも男性(55%)の割合が高くなりました。

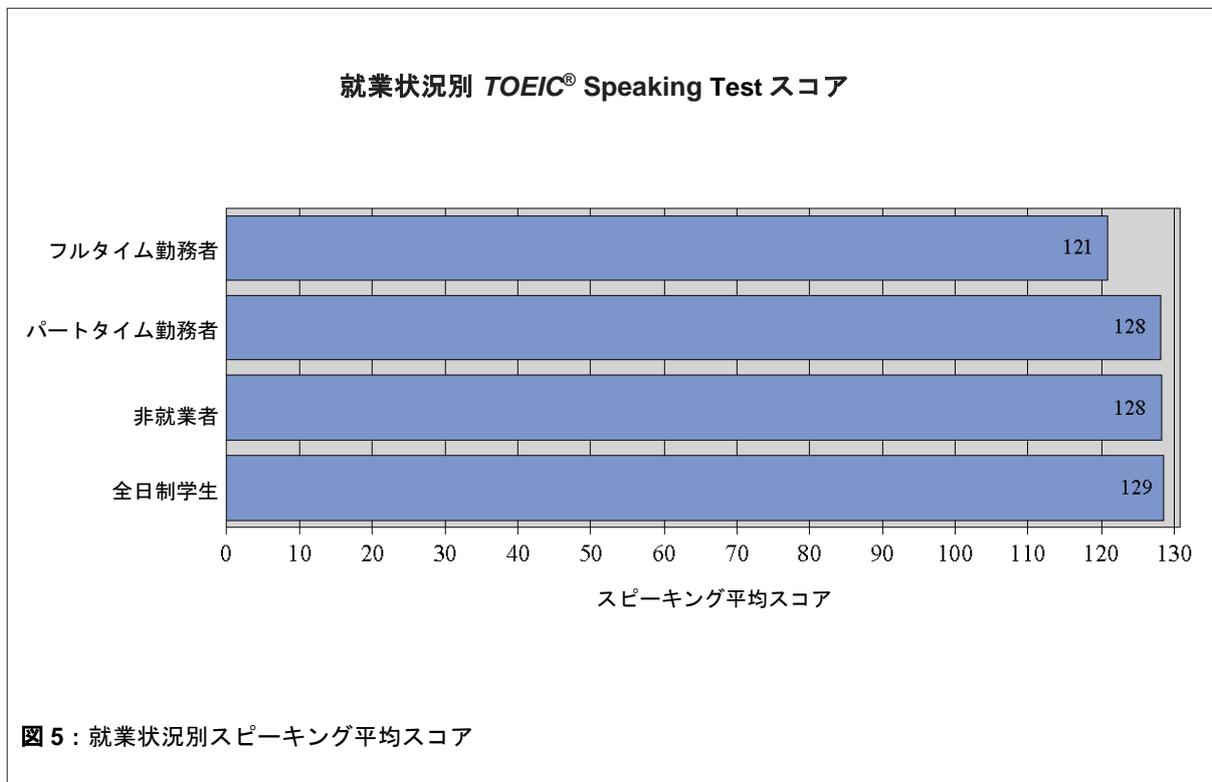


就業状況

TOEIC® Speaking Test 受験者の多くは「全日制学生」(41%)でした。ニュージーランド(85%)、シンガポール(83%)、フィリピン(80%)などの国は「全日制学生」の割合が最も高くなっています。さらに受験者の38%がフルタイム勤務者です。

集計結果から、エルサルバドル(99%)、アラブ首長国連邦とパナマ(97%)、ハンガリー(90%)、中国(86%)、タイ(85%)では受験者の大部分がフルタイム勤務者だったことがわかります。

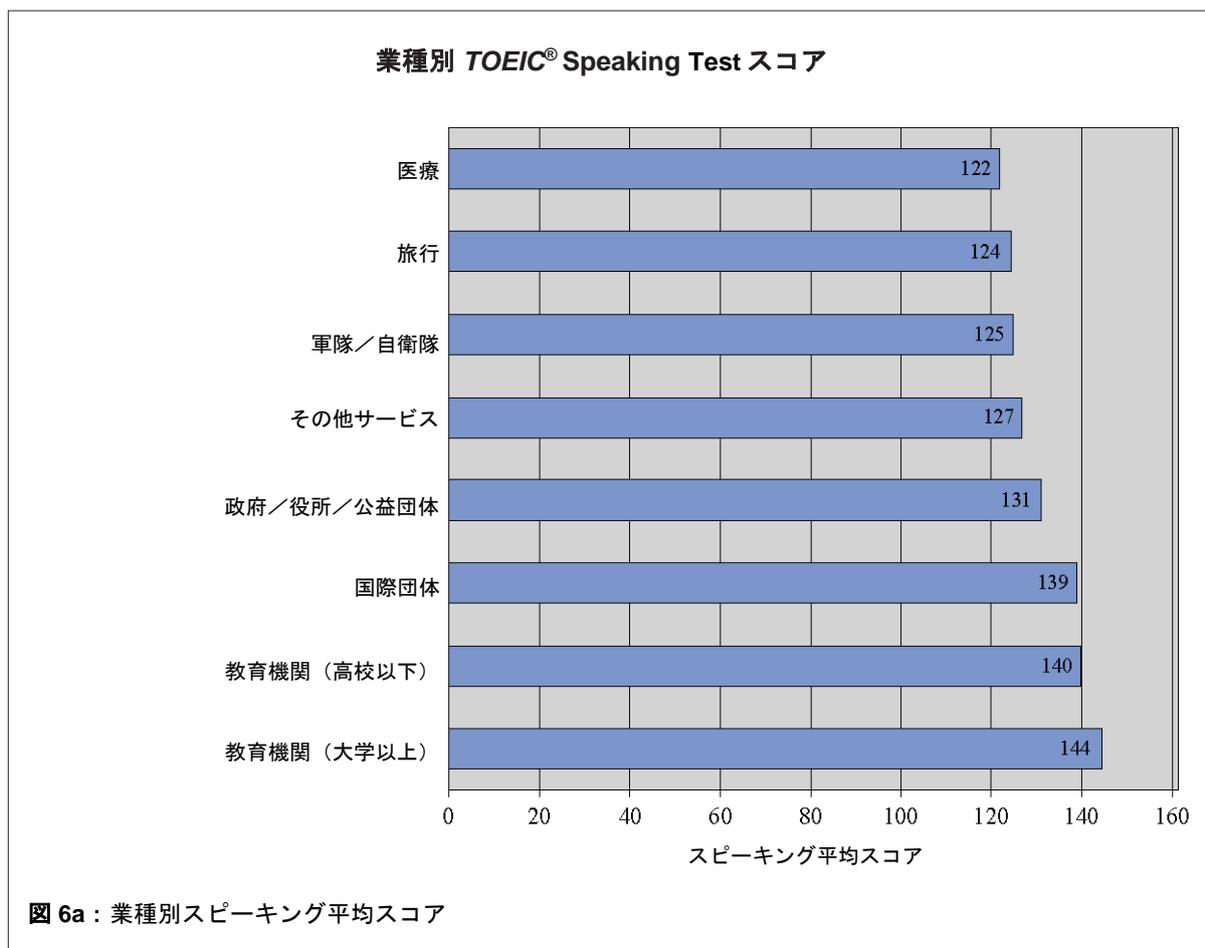
女性(29%)よりも男性(45%)の方がフルタイムの割合が高くなっています。一方、男性(38%)よりも女性(45%)の方が全日制学生の割合が高くなっています。



業種

表 2に見られるように、多くのフルタイム勤務者は「製造業」もしくは「サービス業」に従事しています。

図 6a（サービス業）、図 6b（製造業）および図 6c（サービス業と製造業以外）は、業種別に TOEIC® Speaking 平均スコアを表したものです。



業種別 TOEIC® Speaking Test スコア

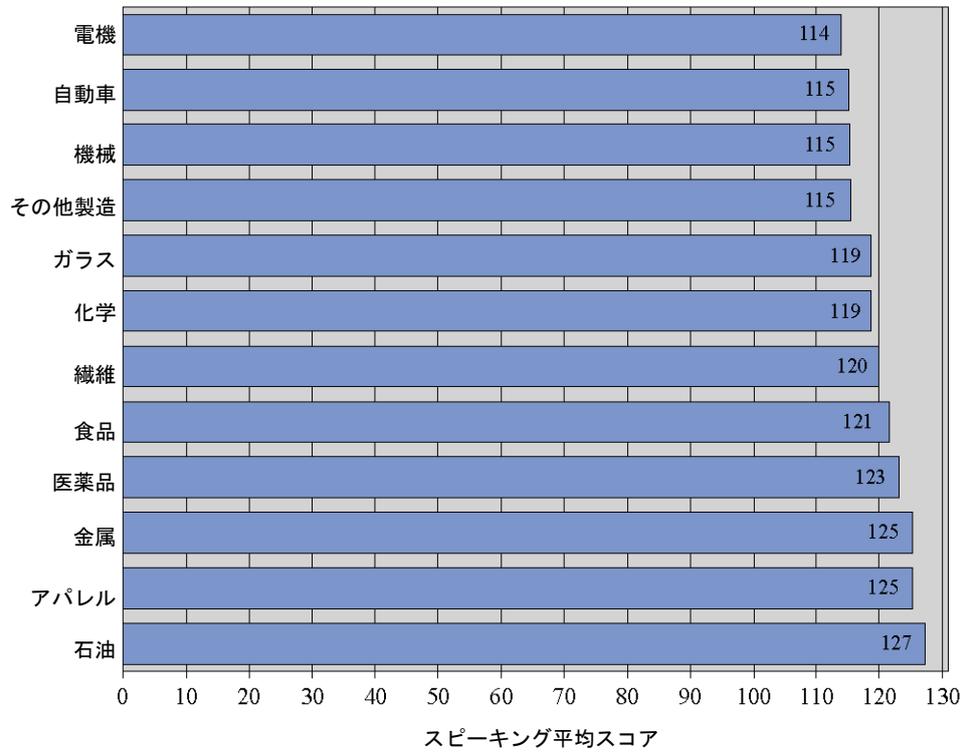


図 6b : 業種別スピーキング平均スコア

業種別 TOEIC® Speaking Test スコア

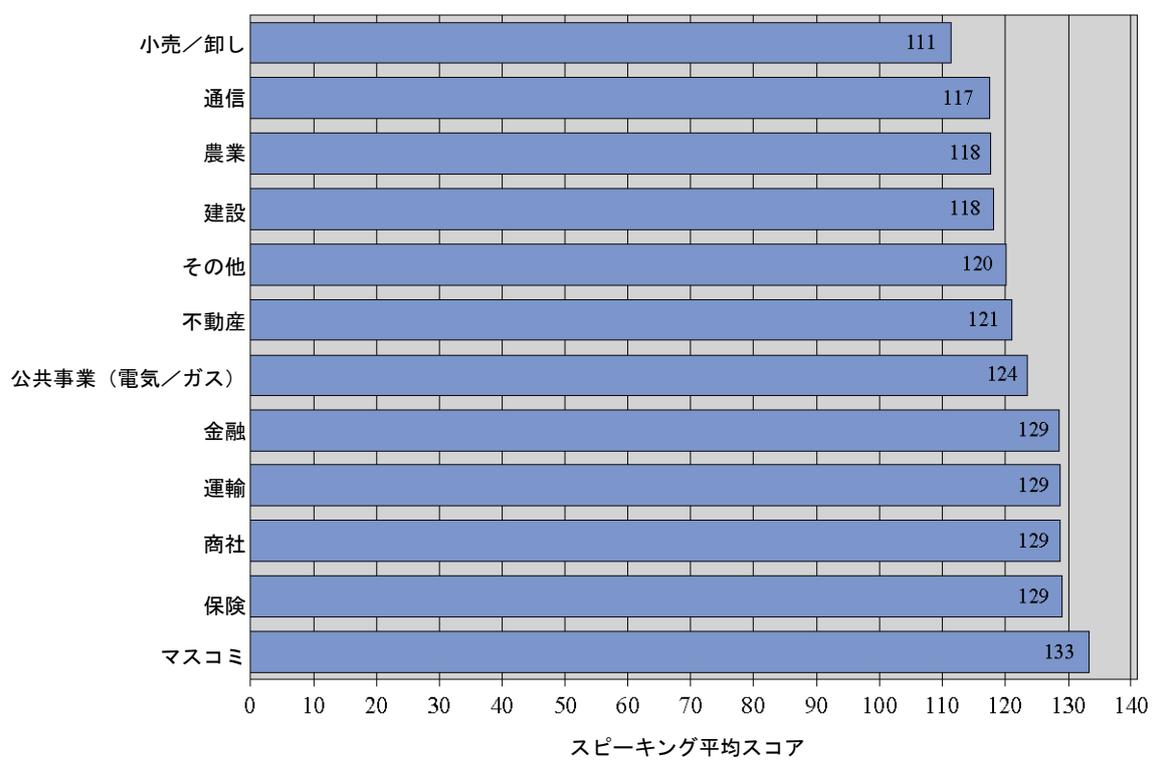


図 6c : 業種別スピーキング平均スコア

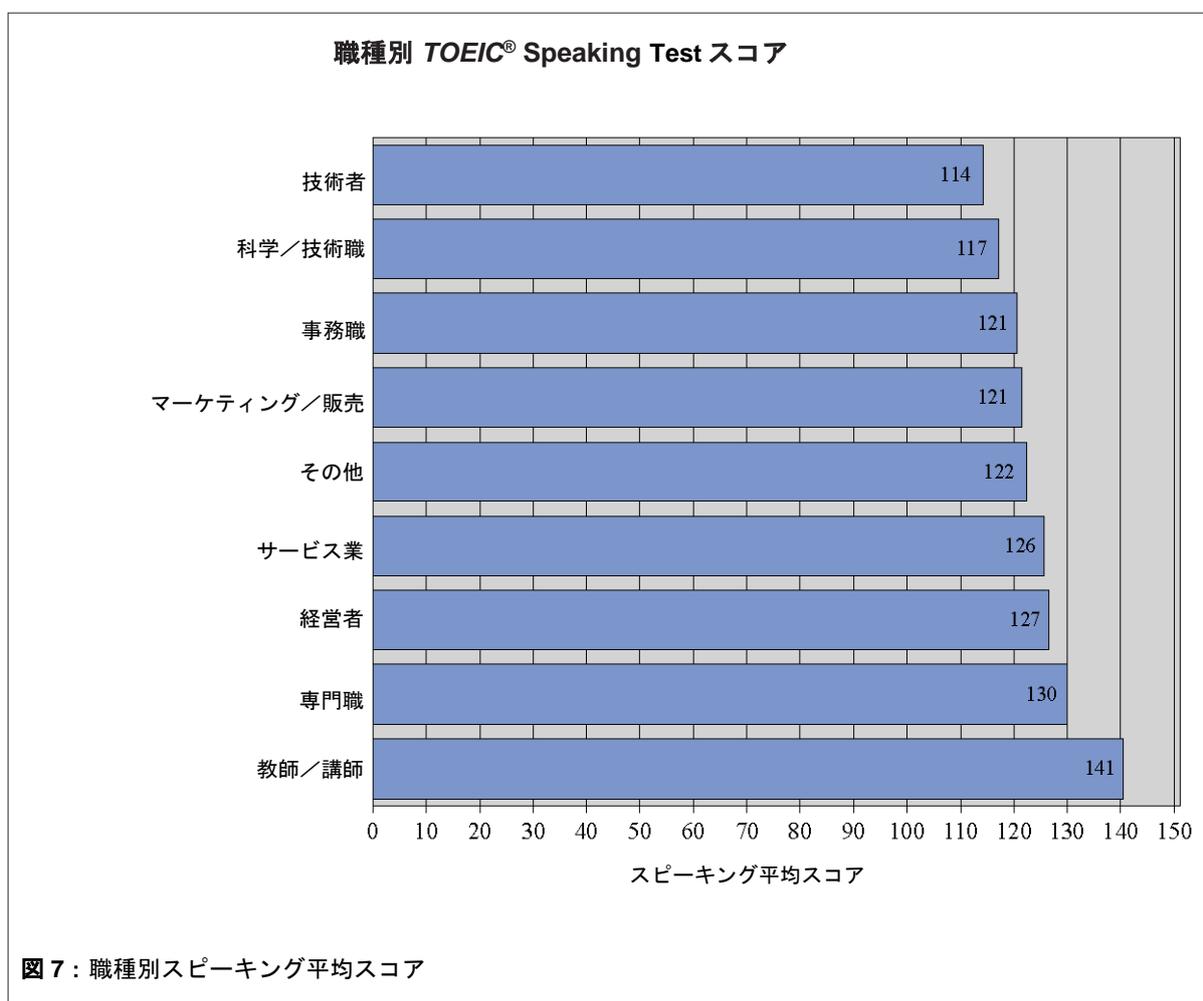
職種

受験者の職種は、国によって大きく異なります。最も多いのは「事務職」（22%）でした。

韓国（25%）は「事務職」に従事する受験者の割合が最も高くなりました。パナマでは全受験者（100%）が「経営者」でした。エルサルバドルでもほぼ全員が「経営者」でした。

アラブ首長国連邦（41%）とイタリア（33%）では受験者の多くが「科学／技術職」に就いています。

全体として、「サービス職」は女性（27%）の方が男性（4%）より割合が高くなっています。「技術者」は男性（23%）の方が女性（4%）より割合が高くなっています。「科学／技術職」では男性（17%）が女性（8%）よりも多くなっています。



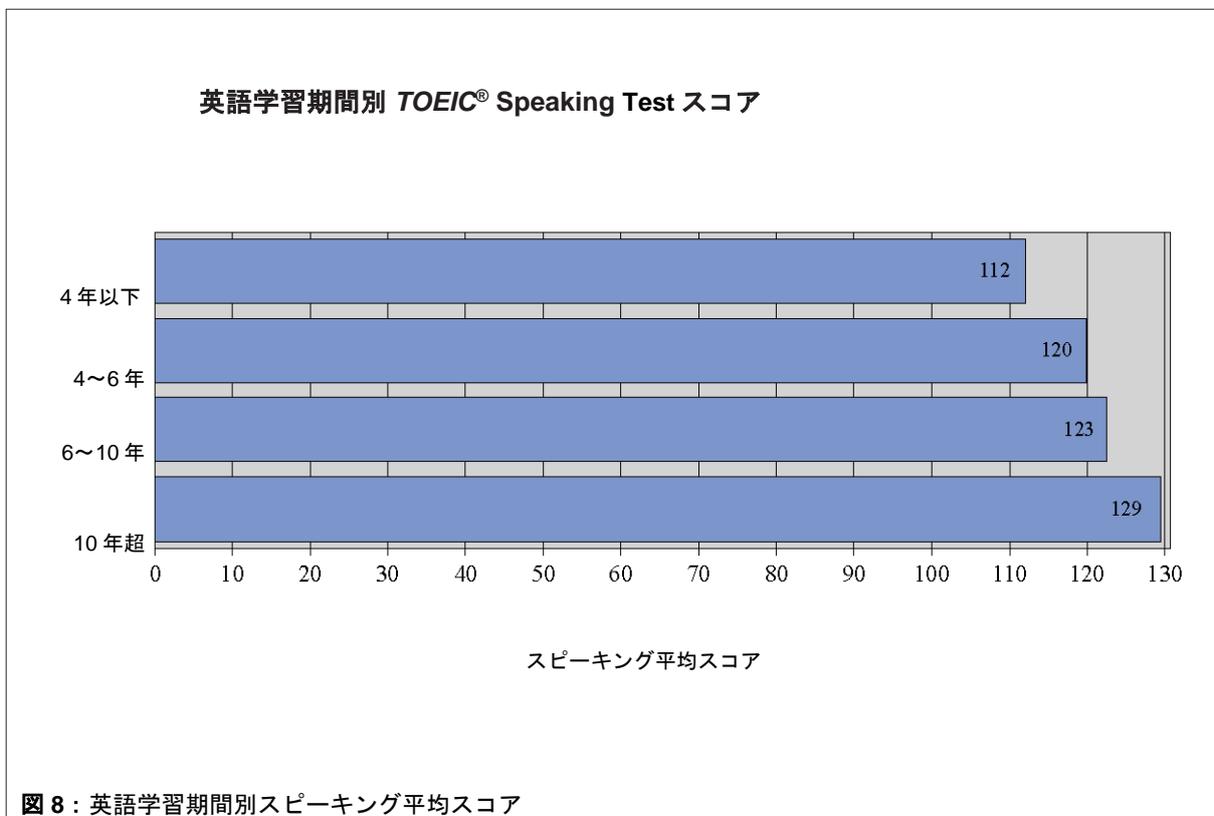
英語学習期間

84%の受験者が「6年以上」英語を勉強していました。

パナマとエルサルバドルでは全受験者（100%）が「4年以下」の英語学習期間でした。このほかに「4年以下」の受験者が多かったのは、コスタリカ（82%）、ベトナム（55%）、ニュージーランド（51%）です。

これに対して、「10年超」英語を勉強している受験者が多かったのは、アラブ首長国連邦（72%）、台湾（64%）、ハンガリー（63%）、韓国（61%）、中国とフィリピン（58%）、そして日本（57%）です。

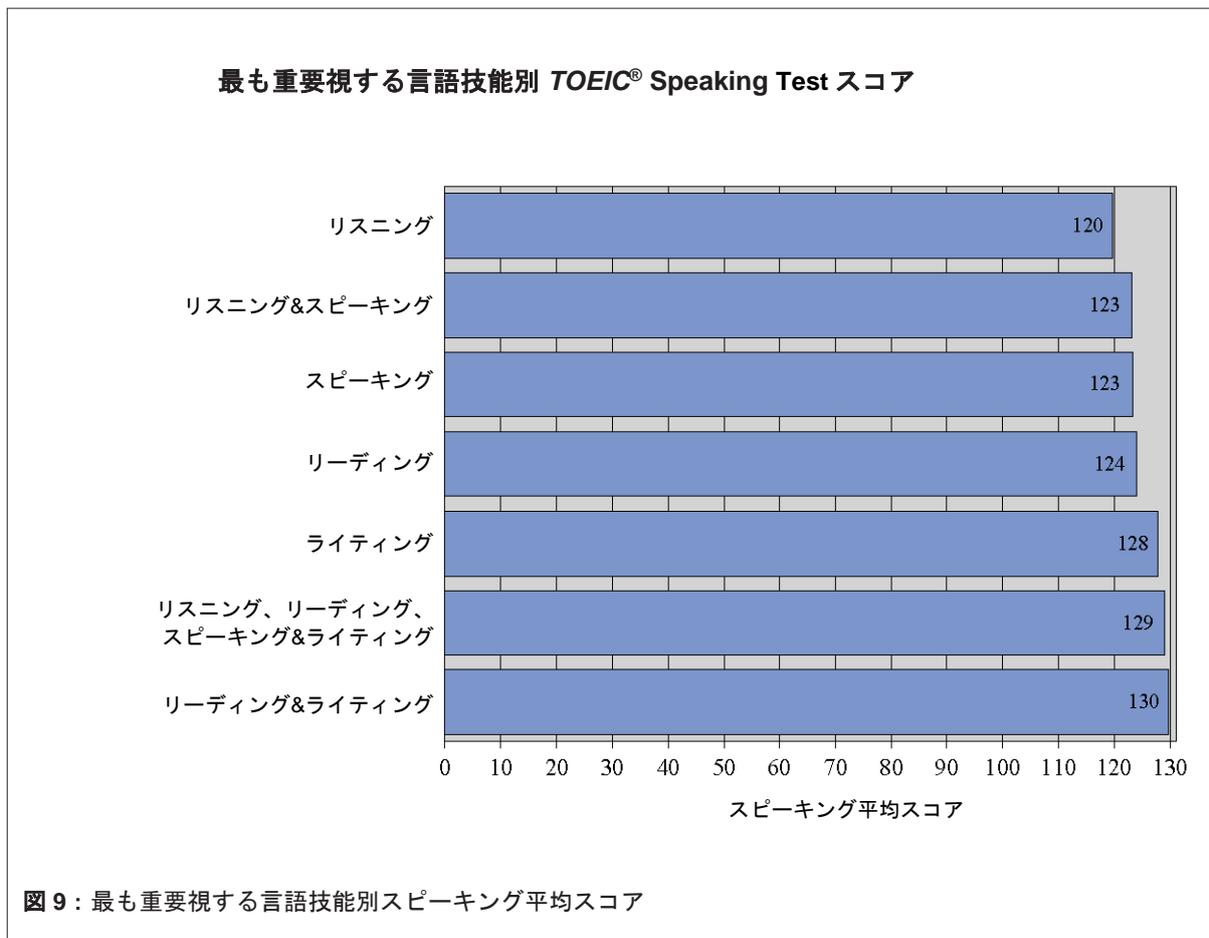
全体として、英語学習期間が「6年以上」の割合は女性（86%）の方が男性（82%）より若干高くなっています。



英語学習の際に最も重要視する言語技能

全体として、受験者全体の42%が学習の際に英語の「4技能（リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング）すべて」を重視すると回答しました。31%の受験者が、「リスニングとスピーキング」を最も重視すると回答しました。

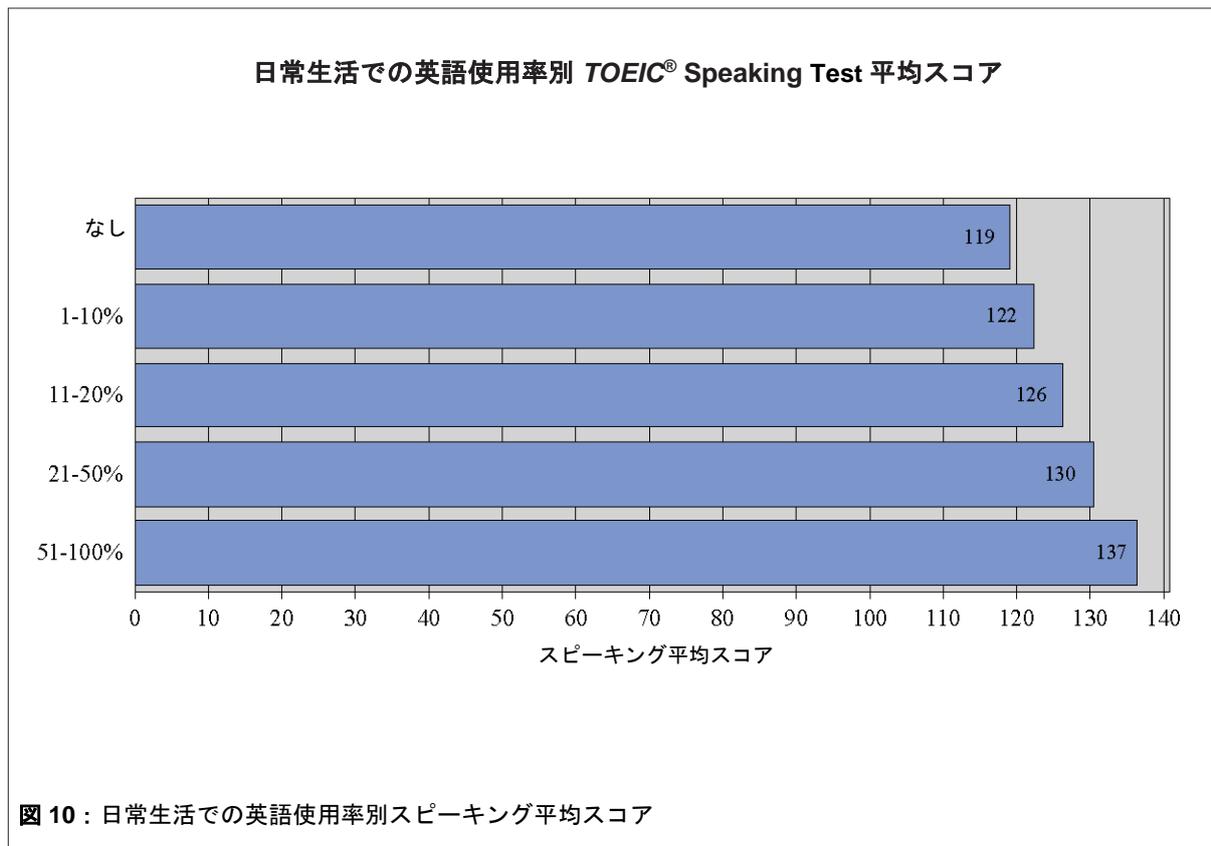
韓国（44%）、アラブ首長国連邦（39%）、台湾（37%）、フィリピン（34%）の受験者の多くは「4技能すべて」を重視すると回答しましたが、パナマ（97%）とエルサルバドル（99%）の受験者の大部分は「リスニング」のみを重視すると回答しました。



日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対して、全体の39%が「1～10%の割合」と回答しました。このように回答した受験者が多い国は、ハンガリー（49%）、中国（43%）、日本（41%）、韓国（40%）およびシンガポール（39%）などです。

メキシコの受験者の41%は「11～20%」の割合で日常的に英語を使用すると答えました。ニュージーランドでは受験者の57%が「51～100%」の割合で日常的に英語を使用すると回答しました。



最も使用する言語技能

全体の23%が、最も使用する英語技能として「リスニングとスピーキング」を挙げました。次いで、全体の22%が最も使用する技能として「4技能（リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング）すべて」を挙げ、20%が「リーディング」を挙げました。韓国（23%）は、最も使用する技能として「4技能すべて」を挙げた受験者の割合が最も高くなりました。ニュージーランド（32%）は「リスニングとスピーキング」を挙げた受験者の割合が最も高く、これに次いでシンガポール（31%）、アラブ首長国連邦（27%）、韓国（24%）が高くなっています。「リスニング」という回答が多かったのは、パナマ（98%）、エルサルバドル（99%）、ベトナム（55%）、スペイン

（34%）、日本（33%）およびメキシコ（32%）です。「リーディング」という回答が多かったのは、中国（30%）、フランス（24%）、イタリア（32%）、タイ（26%）、トルコ（27%）および台湾（32%）です。ハンガリーでは「スピーキング」が最も使用する技能でした（33%）。

全体を見ると、女性より男性の方が「リーディング」を最も使用する技能として選ぶ傾向が見られました（男性22%、女性18%）。男性（20%）より女性（27%）の方が「リスニングとスピーキング」の両方を挙げる割合が高くなっています。

最も使用する英語技能別 TOEIC® Speaking Test スコア

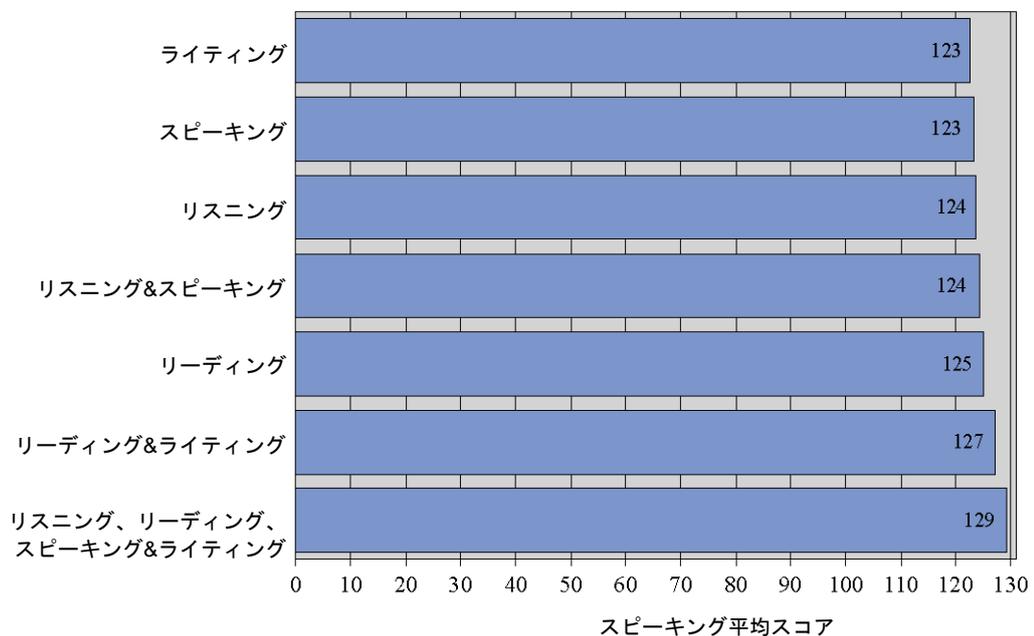
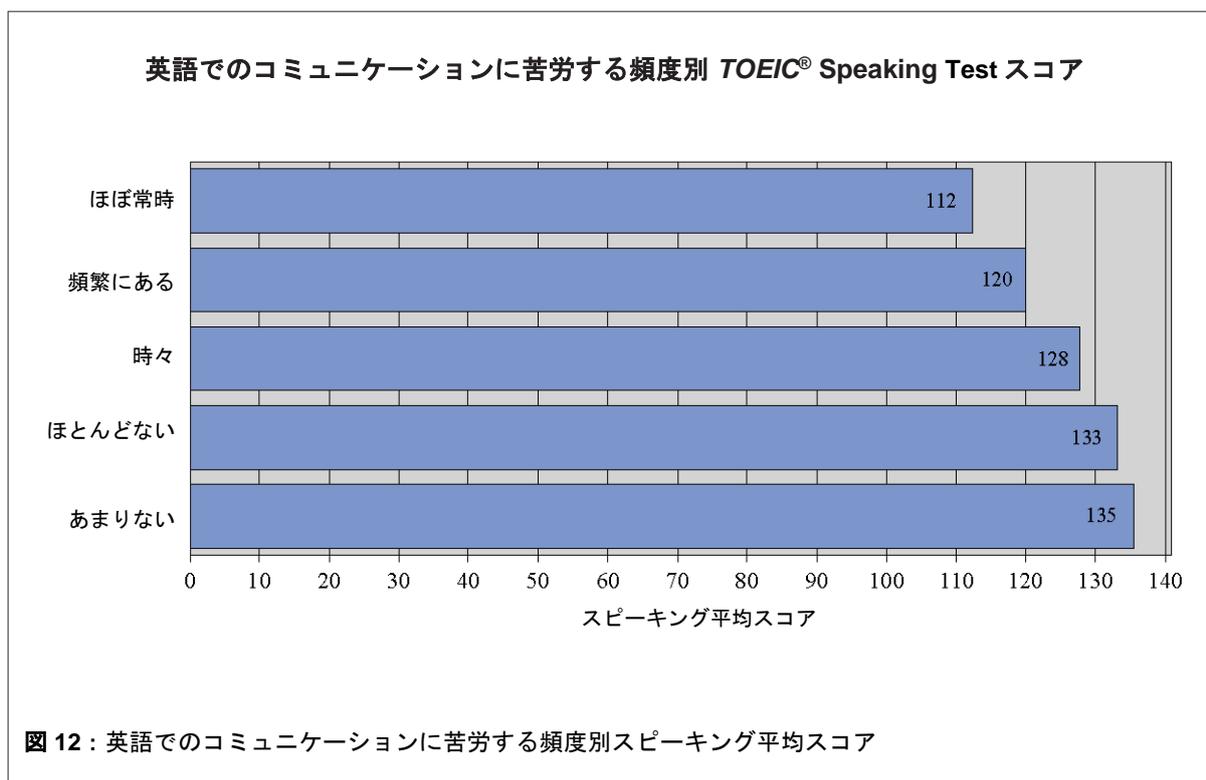


図 11 : 最も使用する英語技能別スピーキング平均スコア

英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対し、全体の47%が「時々」、24%が「頻繁にある」、13%が「あまりない」と答えました。

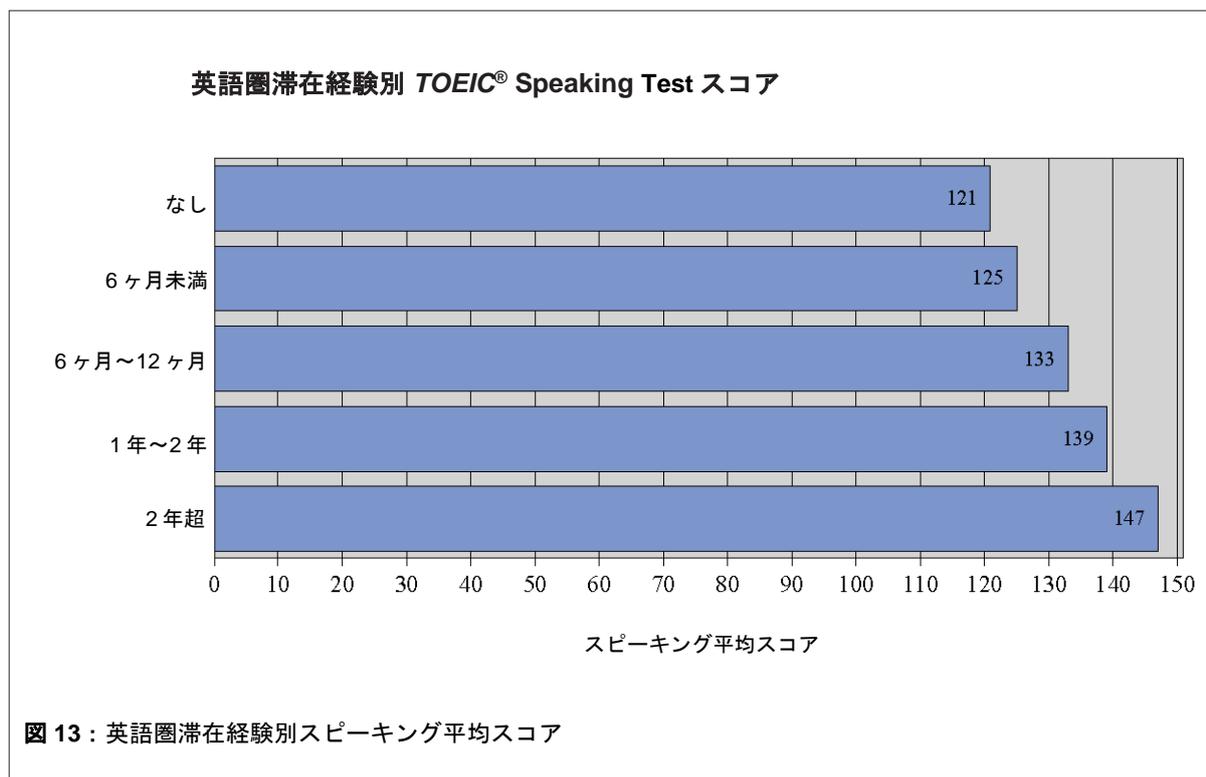
ドイツ（33%）、ハンガリー（55%）、パナマ（98%）、ベトナム（49%）、エルサルバドル（99%）では受験者の多くが「ほとんどない」を選択しました。



英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国に滞在したことがありますか」という質問に対し、「英語を主言語とする国に6ヶ月以上滞在したことがある」と回答した受験者は全体の約20%であり、52%の受験者が「英語圏滞在経験なし」と回答しました。

英語圏に2年超滞在したことがある受験者の割合が高い国は、アラブ首長国連邦（34%）、ニュージーランドとシンガポール（30%）などです。



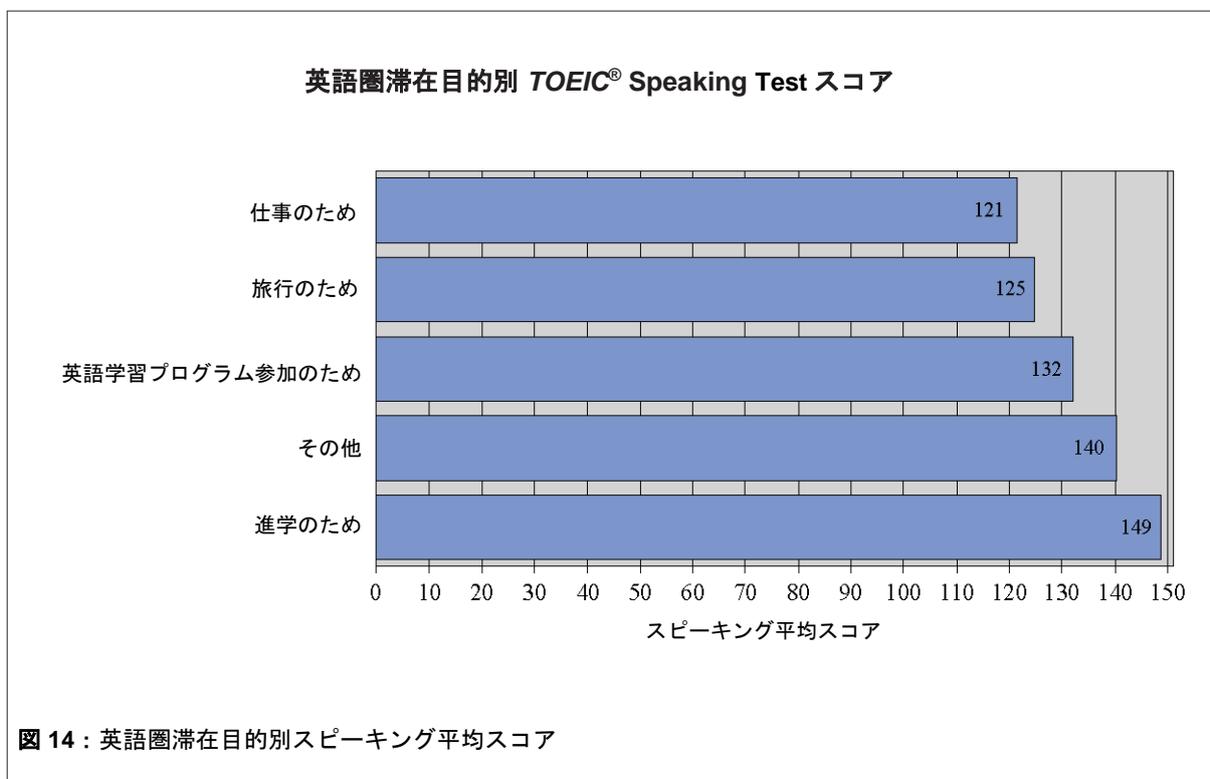
英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に、38%の受験者が「旅行」と回答しました。また、28%は「語学プログラム参加のため」と回答しました。

アラブ首長国連邦（67%）、中国（41%）、フランス（36%）、タイ（54%）、エルサルバドル（50%）、トルコとベトナム（37%）では受験者の多くが滞在目的として「仕事のため」を選択しました。

ニュージーランドでは大部分の受験者（95%）が「進学のため」と回答しました。また、パナマの受験者は全員（100%）が「語学プログラム参加のため」と回答しました。

「語学プログラム参加のため」という回答は、男性（24%）より女性（33%）が多くなりました。「仕事のため」と回答した割合は女性（7%）より男性（18%）が高くなりました。

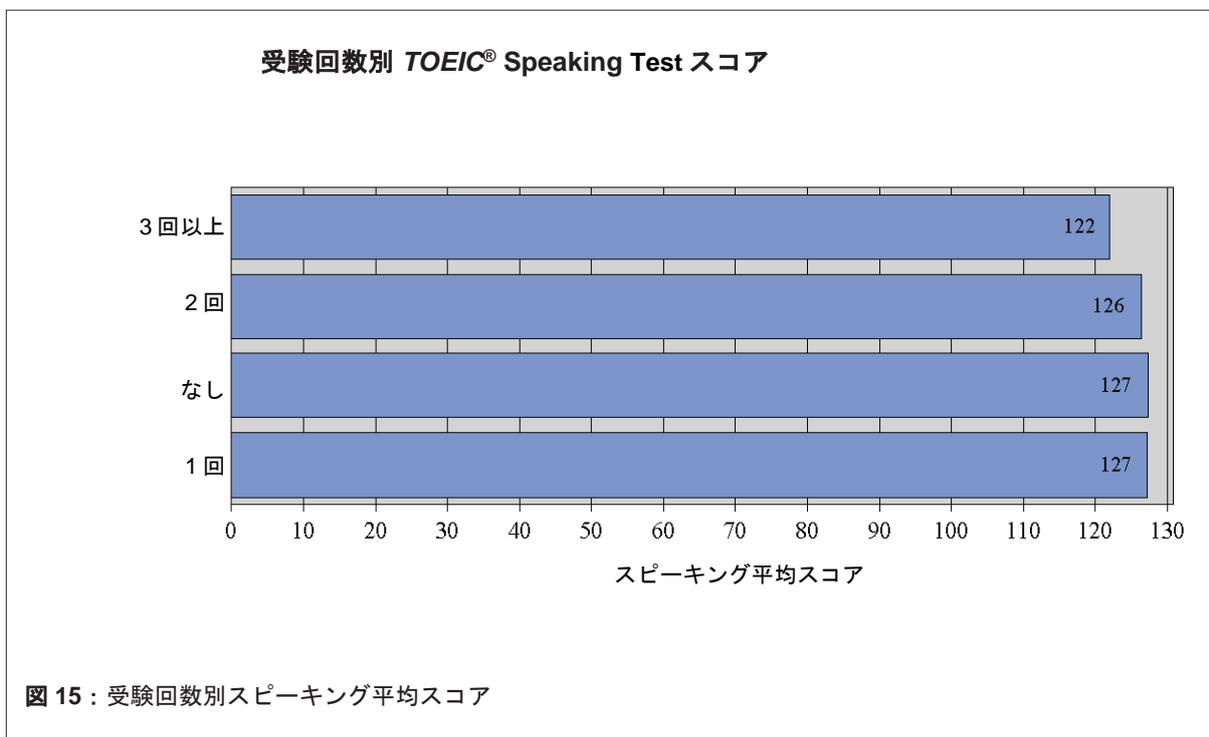


TOEIC® Speaking Test 受験経験

全体では受験者の 59%が TOEIC® Speaking Test を受けたことがあり、およそ 26%が「3 回以上」受験しています。

過去に TOEIC® Speaking Test を受験したことがある割合は国によって大きく差が出ました。割合の低い国はパナマ（0%）とエルサルバドル（1%）、割合の高い国はアラブ首長国連邦（70%）でした。

一般に、女性（45%）の方が男性（38%）より TOEIC® Speaking Test の「受験経験なし」の割合が高くなっています。これに対して、過去に「3 回以上」受験したことがある割合は男性（30%）の方が女性（20%）より高くなりました。



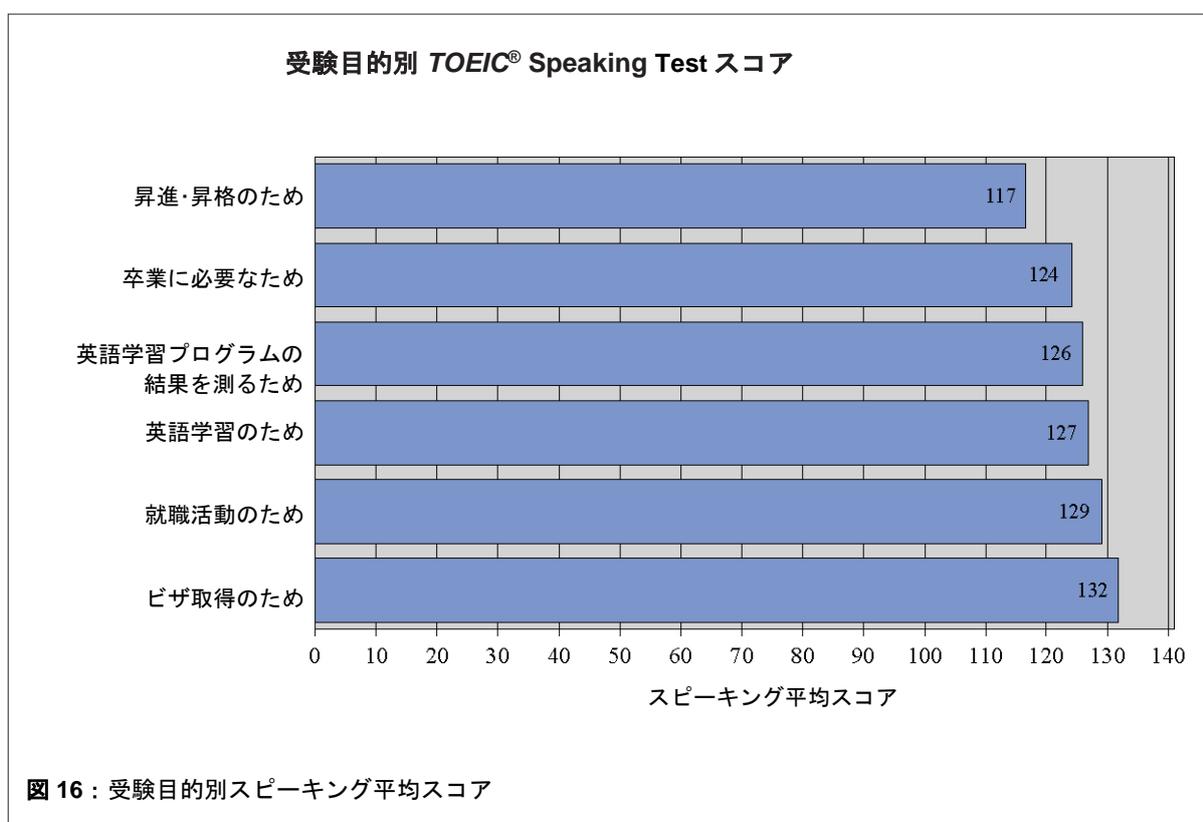
TOEIC® Speaking Test 受験目的

TOEIC® Speaking Test の受験目的として最も多かった回答は「就職活動のため」(51%)と「昇進・昇格のため」(21%)です。

ハンガリー(50%)では多くの受験者が「語学プログラムの結果を測るため」と答えました。日本(51%)とニュージーランド(42%)では受験者の多くが学習目的で受験しました。メキシコ(71%)とフィリピン(49%)では「卒業

に必要なため」と答えた受験者が多数に上りました。

受験目的として「就職活動のため」を挙げた割合は女性(59%)の方が男性(46%)より高くなっています。一方、「昇進・昇格のため」の割合は女性(15%)より男性(26%)の方が高くなっています。



2018年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴

バックグラウンド情報は、公開テスト制度または団体特別受験制度により、2018年 TOEIC® Writing Test を受けた受験者（TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を受けた受験者、TOEIC® Writing Test のみ受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC® Writing Test 受験者の特徴です。各質問に回答した受験者の回答率は質問項目によって異なります。一部の質問項目では回答率がそれほど高くありませんでした。

- 性別では 53%が男性
- 学歴（最終学歴もしくは受験時在学）で最も多いのは大学卒または大学在学中（58%）
- 専攻で最も多いのは「教養学」で 27%、「工学」は 21%、「経営学」は 18%
- 51%が「フルタイム勤務者」で、32%は「全日制学生」
- 就業者の業種では「サービス業」が 31%、「製造業」が 25%
- 職種では 15%が「経営者」、15%が「事務職」、14%が「科学／技術職」
- 77%が「6年以上の英語学習経験有」
- 英語学習において最も重視される技能として、34%が「リスニング、リーディング、スピーキングおよびライティング」を選択
- 30%が「日常生活において英語を使用する割合は 1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能として、24%が「リスニング」を、19%が「リーディング」を選択
- 43%が英語でのやりとりに「時々苦勞する」と回答
- 23%が「6ヶ月以上の英語圏滞在経験者」
- 50%が英語圏滞在目的として「進学のため」もしくは「語学プログラム参加のため」を選択
- 67%が「これまで受験したことがない」と回答
- 27%が「学習のため」、26%が「就職活動のため」、20%が「卒業に必要なため」と回答

国・地域別 TOEIC® Writing Test 平均スコア

以下の図 17 は、国・地域別の TOEIC® Writing Test スコアの平均と標準偏差を集計したものです。次ページの表 3 には受験者の母国別の平均スコアを集計しています。よって、受験者が

TOEIC® Writing Test を受験した国・地域とは必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC® Writing Test 受験者が 50 名以上の国のみ掲載されています

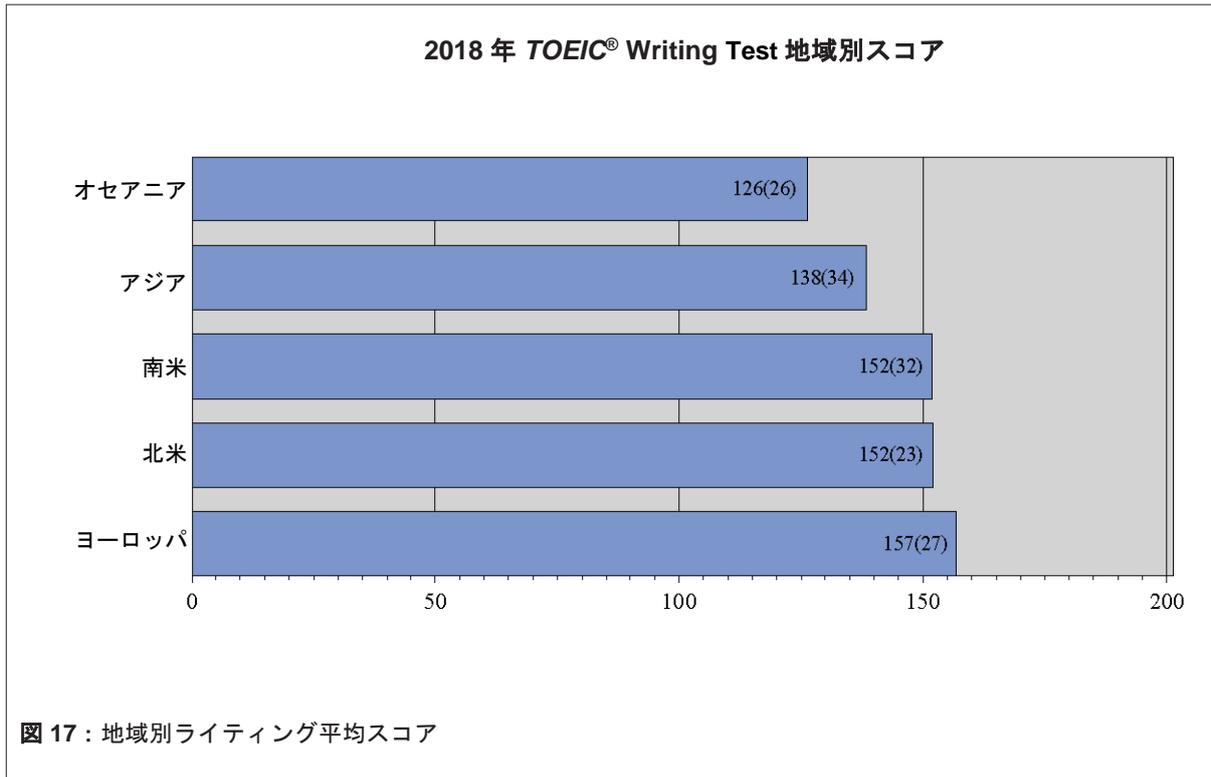


表 3 : TOEIC® Writing Test 受験者の国別平均スコア

国名	ライティング	
	平均	(SD)*
アルゼンチン	171	(26)
ブラジル	133	(42)
チリ	140	(29)
中国	147	(27)
コロンビア	157	(30)
コスタリカ	162	(25)
エクアドル	163	(25)
エルサルバドル	153	(21)
フランス	165	(25)
ドイツ	169	(20)
ハンガリー	179	(19)
インドネシア	162	(27)
イタリア	162	(20)
日本	130	(35)
韓国	145	(29)
メキシコ	153	(21)
ニュージーランド	126	(26)
パナマ	140	(21)
フィリピン	171	(20)
シンガポール	140	(20)
スペイン	152	(28)
台湾	156	(23)
タイ	151	(31)
トルコ	153	(31)
米国	131	(33)
ベトナム	150	(26)

*SD=標準偏差

TOEIC® Writing Test カテゴリー別集計

表 4 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC® Writing Test 受験者の人数割合 (%) と TOEIC ライティング平均スコアを示しています。各カテゴリーの TOEIC ライティングテスト受験者に

関する詳細な情報は表 4 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
性別	女性	46.9	140	(34)
	男性	53.1	140	(34)
学歴	小学校	4.2	143	(31)
	中学校	0.8	138	(38)
	高校	10.4	135	(33)
	高専	0.6	141	(37)
	専門学校	1.4	139	(33)
	短大	3.3	135	(34)
	大学	58.4	152	(26)
	大学院	19.7	154	(25)
	語学学校	1.2	141	(31)
専攻科目	教養学	26.8	151	(28)
	社会学	9.7	151	(27)
	経営学	17.5	151	(27)
	科学	9.6	150	(28)
	医療関連	2.7	145	(30)
	工学	21.2	151	(27)
	その他	12.4	139	(33)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリ別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	51.2	147	(28)
	パートタイム勤務者	6.4	152	(30)
	非就業者	10.3	155	(25)
	全日制学生	32.0	151	(30)
業種	農業	7.6	145	(29)
	建設	1.4	146	(30)
	食品	1.5	139	(31)
	医薬品	1.6	144	(25)
	化学	2.6	140	(24)
	繊維	0.3	141	(28)
	石油	0.6	146	(26)
	金属	1.7	142	(26)
	機械	3.1	139	(26)
	電機	5.9	142	(28)
	自動車	3.0	146	(25)
	ガラス	0.1	150	(21)
	アパレル	2.6	138	(33)
	その他製造	2.3	141	(29)
	教育機関 (高校以下)	4.7	160	(24)
	教育機関 (大学以上)	4.0	163	(26)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリ別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	ライティング	
		平均	(SD)*
業種 (続き)	政府/役所/公益団体	2.9	152 (23)
	国際団体	0.6	162 (22)
	サービス - 軍隊/自衛隊	0.9	160 (29)
	医療	2.0	146 (28)
	旅行	3.8	147 (26)
	その他サービス	11.6	147 (27)
	公共事業 (電気/ガス)	2.5	147 (27)
	マスコミ	1.1	151 (26)
	通信	2.1	149 (29)
	小売/卸し	1.6	145 (32)
	商社	4.6	143 (29)
	金融	6.8	149 (27)
	保険	1.8	148 (32)
	不動産	0.6	143 (33)
	運輸	3.9	151 (23)
	その他	10.3	150 (29)
職種	経営者	15.4	150 (28)
	科学/技術職	14.4	146 (26)
	教師/講師	10.2	160 (27)
	専門職	9.1	151 (25)
	技術者	5.9	139 (26)
	マーケティング/販売	12.5	143 (28)
	事務職	14.9	143 (30)
	サービス業	10.7	147 (26)
	その他	7.1	148 (30)
英語学習期間	4年以下	13.1	140 (33)
	4~6年	10.4	142 (30)
	6~10年	20.6	148 (28)
	10年超	55.9	155 (25)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリ別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
最も重視する言語技能	リスニング	15.1	146	(27)
	リーディング	9.4	150	(28)
	スピーキング	13.7	144	(29)
	ライティング	3.0	151	(30)
	リスニング&スピーキング	16.5	145	(29)
	リーディング&ライティング	8.4	162	(25)
	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	33.8	154	(27)
日常生活での英語 使用率	なし	12.8	140	(31)
	1~10%	30.3	146	(28)
	11~20%	25.4	152	(26)
	21~50%	21.6	156	(26)
	51~100%	9.9	161	(26)
最も使用する英語技能	リスニング	23.5	148	(28)
	リーディング	18.9	151	(28)
	スピーキング	10.3	146	(30)
	ライティング	5.2	149	(29)
	リスニング&スピーキング	12.4	148	(27)
	リーディング&ライティング	12.2	154	(28)
	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	17.6	155	(27)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	ほとんどない	16.4	153	(32)
	あまりない	23.4	156	(27)
	時々	43.0	151	(25)
	頻繁にある	12.6	142	(27)
	ほぼ常時	4.6	132	(34)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリ別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	53.3	150	(29)
	6ヶ月未満	23.9	146	(27)
	6ヶ月～12ヶ月	8.9	151	(25)
	1年～2年	5.1	154	(24)
	2年超	8.7	162	(25)
英語圏滞为目的	進学のため	24.8	157	(26)
	英語学習プログラム参加のため	25.2	147	(25)
	旅行のため	21.1	146	(28)
	仕事のため	19.3	151	(25)
	その他	9.6	157	(28)
TOEIC S&W 受験回数	なし	66.6	151	(29)
	1回	15.6	147	(27)
	2回	6.8	149	(26)
	3回以上	10.9	146	(26)
TOEIC S&W 受験目的	就職活動のため	26.4	153	(27)
	昇進・昇格のため	16.0	142	(28)
	英語学習プログラムの結果を測るため	10.0	152	(29)
	英語学習のため	26.9	149	(28)
	卒業に必要なため	20.4	150	(31)
	ビザ取得のため	0.3	148	(35)

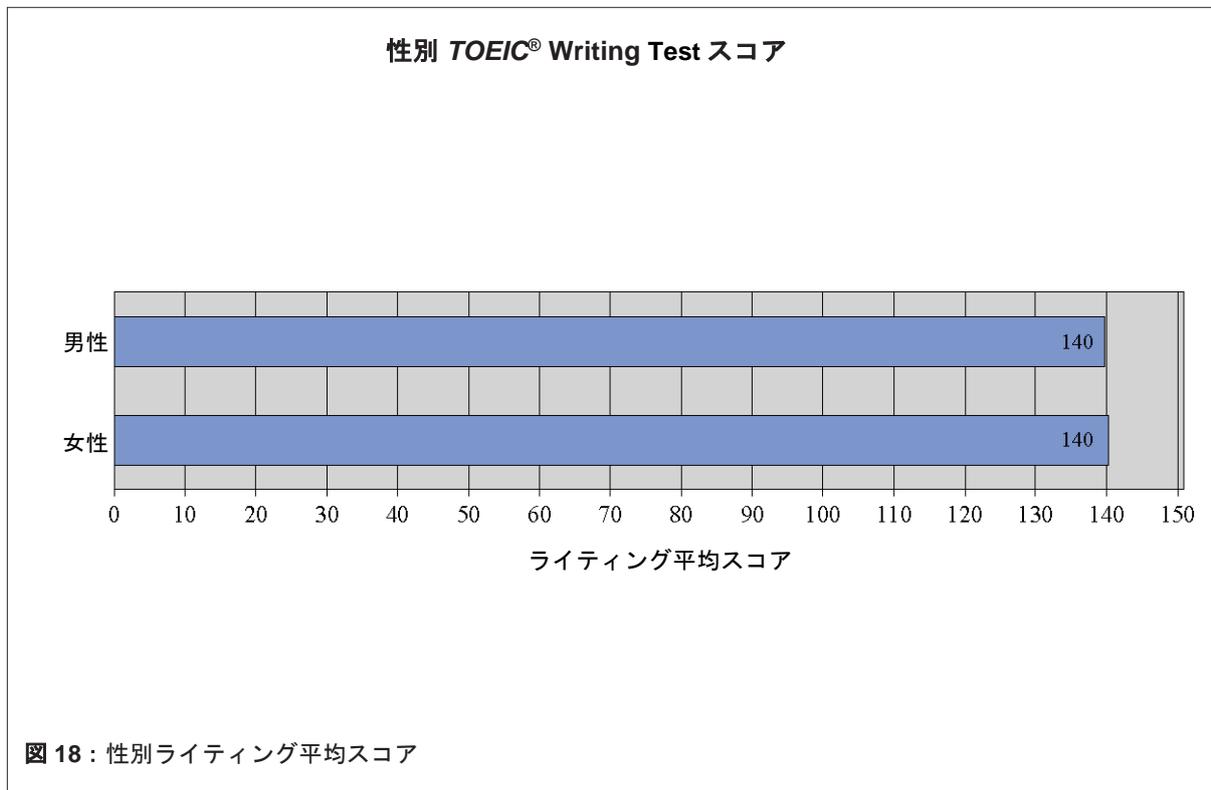
*SD=標準偏差

性別

全体として、TOEIC® Writing Test 受験者は男性（53%）の割合が女性（47%）より高くなっています（表 4 参照）。特にトルコではこの傾向が顕著で、全体の 82% が男性、16% が女性でした。ただ、女性受験者の割合が高い国もありました。例えば、フランスは女性 55% に対し、男性は 45% でした。イタリアは女性 54% に対し、男性は 45% でした。パナマは女性 56% に対し、

男性は 35% でした。エルサルバドルは女性 54% に対し、男性は 38% でした。ベトナムは女性 63% に対し、男性は 35% でした。受験者の中には自身の性別として「その他」を選択した人もいます。

図 18 が示すように、男性と女性のライティングスコアの平均は同じでした。

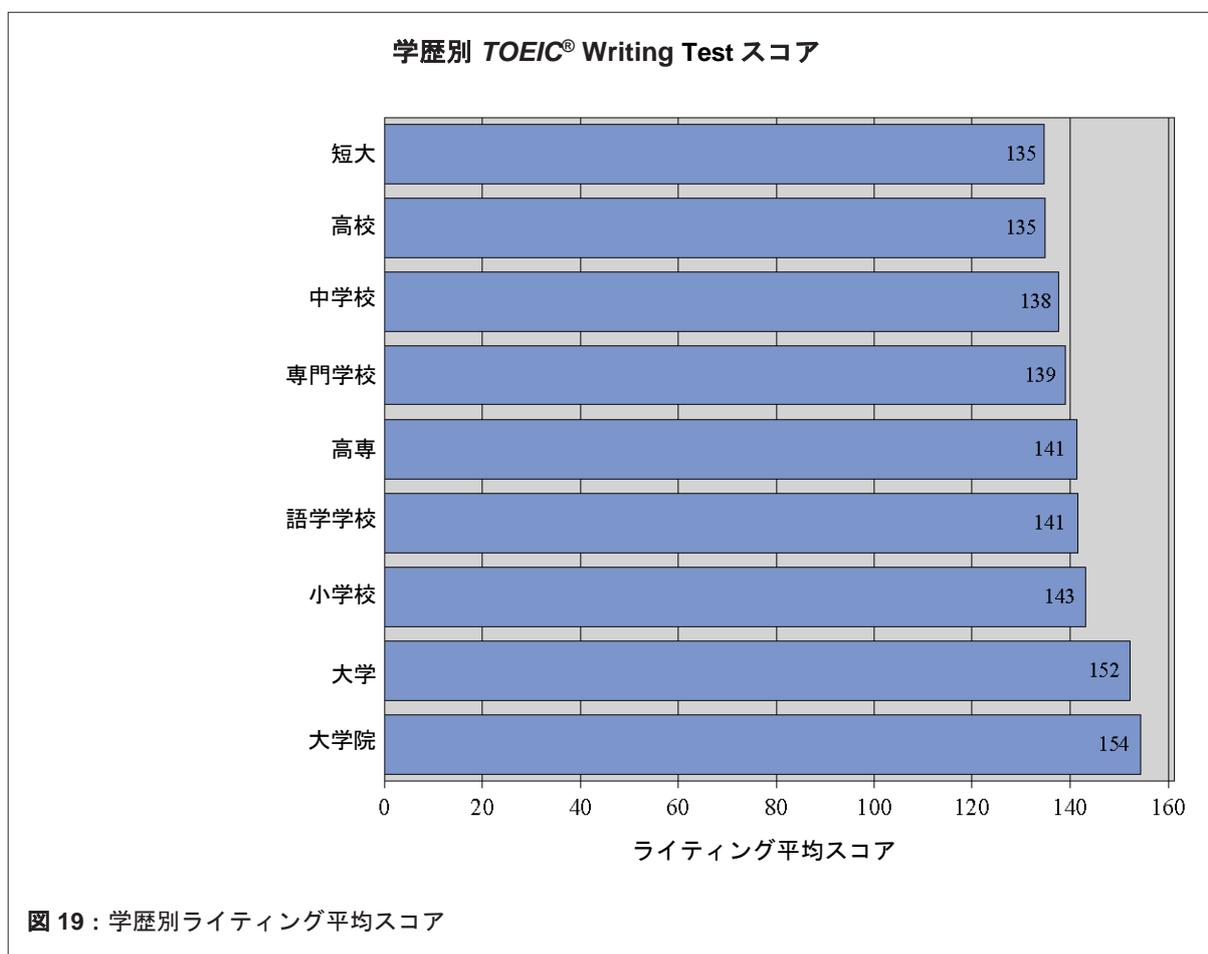


学歴

受験者の多く（58%）はバックグラウンドアンケート回答時点の学歴が、「大学卒（学士取得）または大学在学中」でした。国によって教育システムが異なるため、学歴について一律に国別で比較することはできませんがフィリピン（91%）は「大学卒」の割合が最も高いことが調査結果からわかります。これ以外に「大学卒」の割合が高い国は韓国とメキシコ（74%）です。その他の国を見ると、パナマ（95%）とエルサ

ルバドル（96%）などは「小学校卒」の割合が高くなっています。

全体として、「大学卒または大学在学中」や「大学院卒または大学院在学中」の割合は、男性（84%）の方が女性（72%）より高くなっています。対照的に、「高校卒または高校在学中」の割合は、女性（14%）の方が男性（7%）より高くなっています。

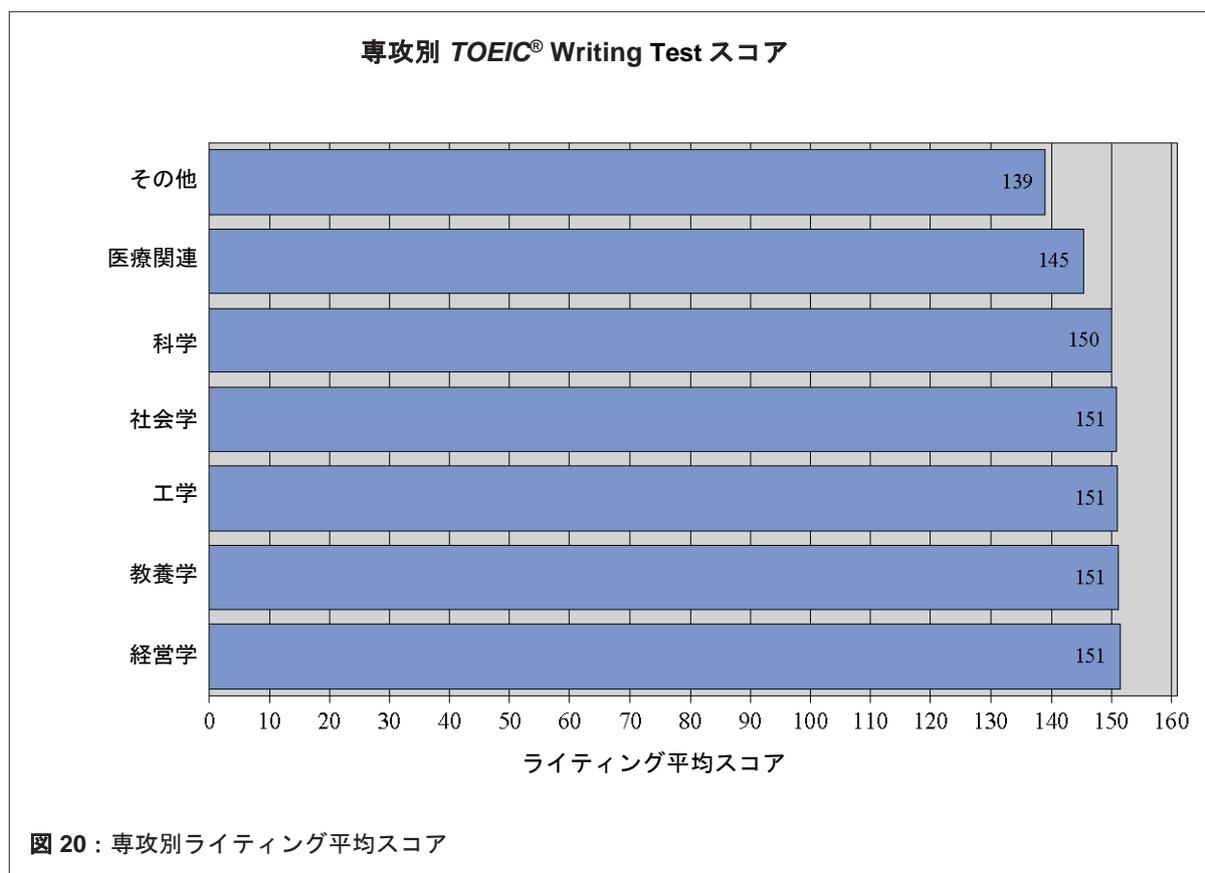


専攻科目

受験者の専攻科目で最も多かったのが「教養学（27%）」でした。特にパナマとエルサルバドルでは「教養学」専攻の受験者がそれぞれ 97%、99%に上りました。一方、「工学」専攻の受験者が多い国もありました。例えば、韓国（32%）、メキシコ（39%）、フィリピン

（59%）、トルコ（43%）などです。

全体として、教養学専攻は男性（16%）よりも女性（39%）の割合が高く、工学専攻は女性（10%）よりも男性（31%）の割合が高くなりました。



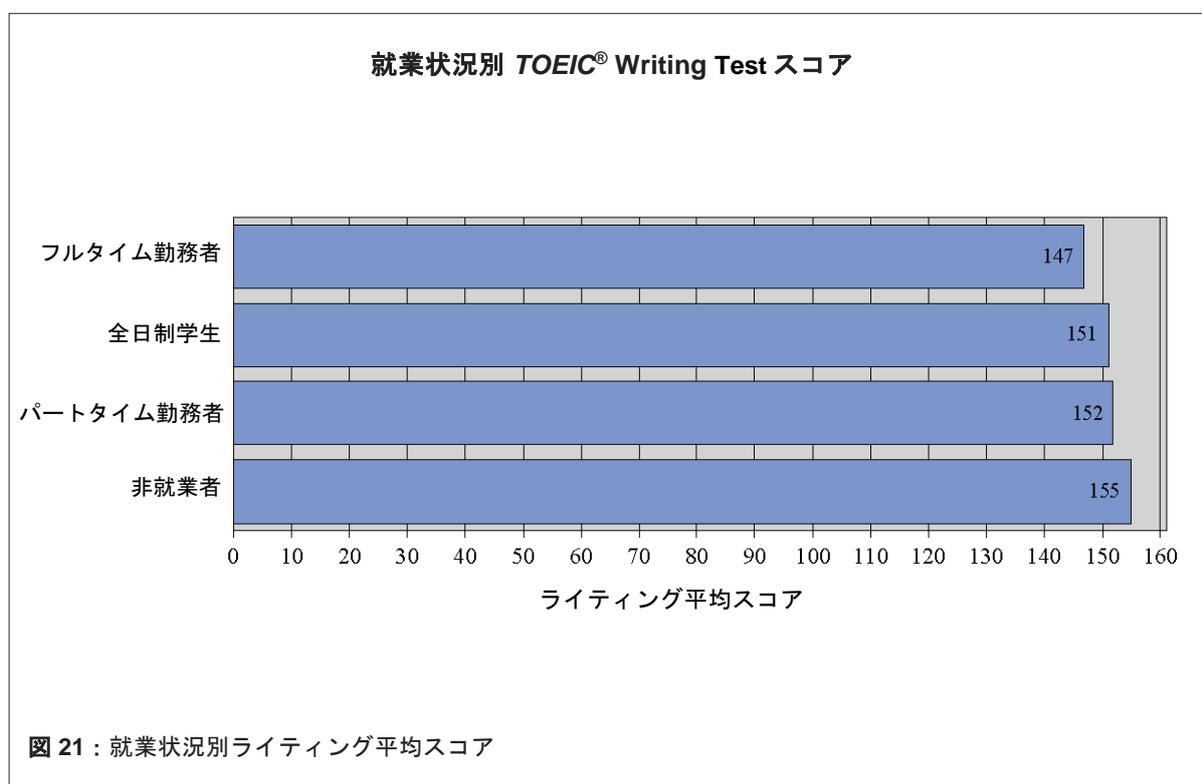
就業状況

TOEIC® Writing Test 受験者の多くは「フルタイム勤務者」(51%)でした。エルサルバドル(99%)、パナマ(97%)、ハンガリー(89%)、中国(84%)などではフルタイム勤務者の割合が高くなっています。

さらに受験者の32%が「全日制学生」です。

ニュージーランド(85%)、シンガポールとフィリピン(81%)、メキシコ(60%)では受験者の大部分が全日制学生でした。

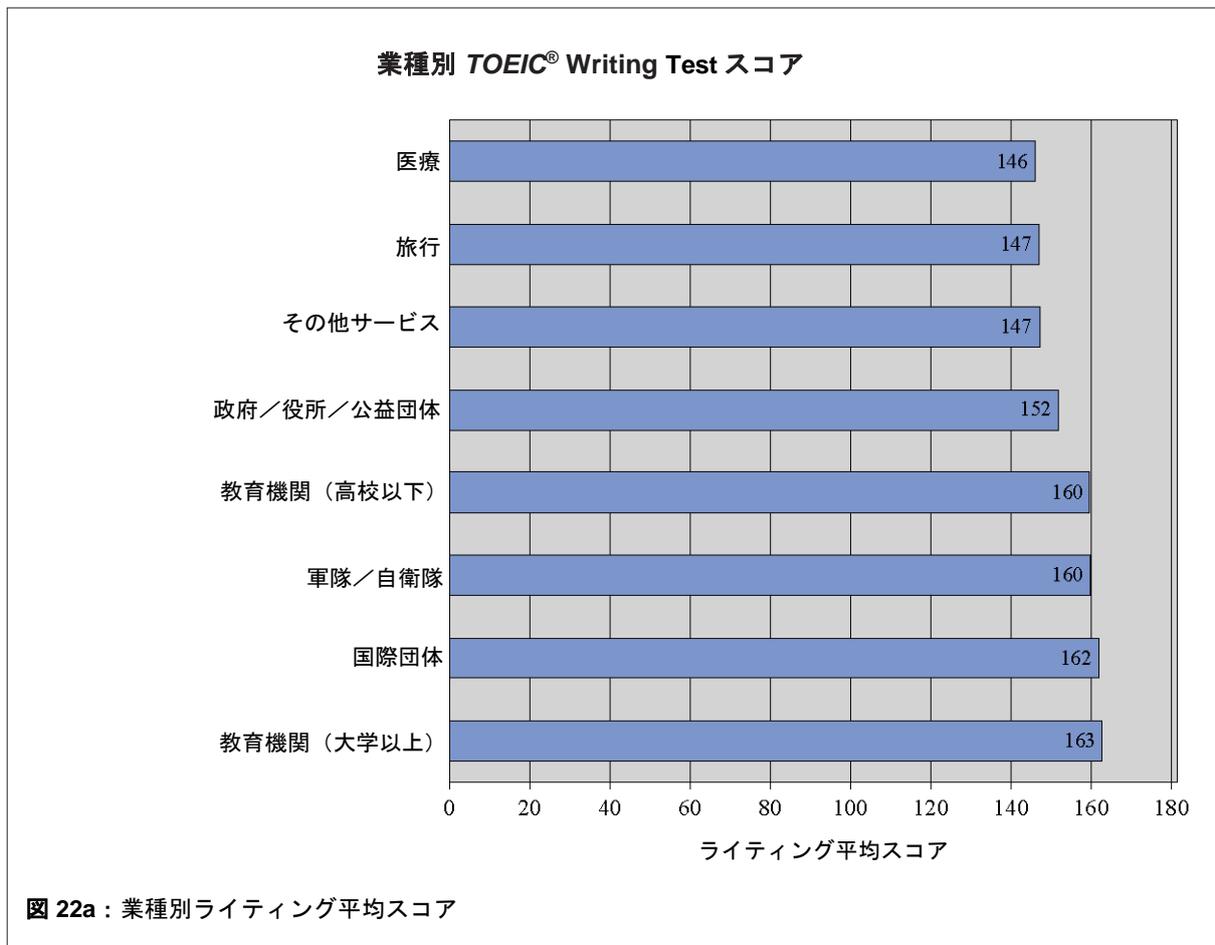
女性(45%)よりも男性(57%)の方がフルタイムの割合が高くなっています。一方、男性(27%)よりも女性(38%)の方が全日制学生の割合が高くなっています。



業種

表 4に見られるように、多くのフルタイム勤務者は「製造業」もしくは「サービス業」に従事しています。

図 22a（サービス業）、22b（製造業）、22c（サービス業と製造業以外）では、業種別ライティング平均スコアを表しています。



業種別 TOEIC® Writing Test スコア

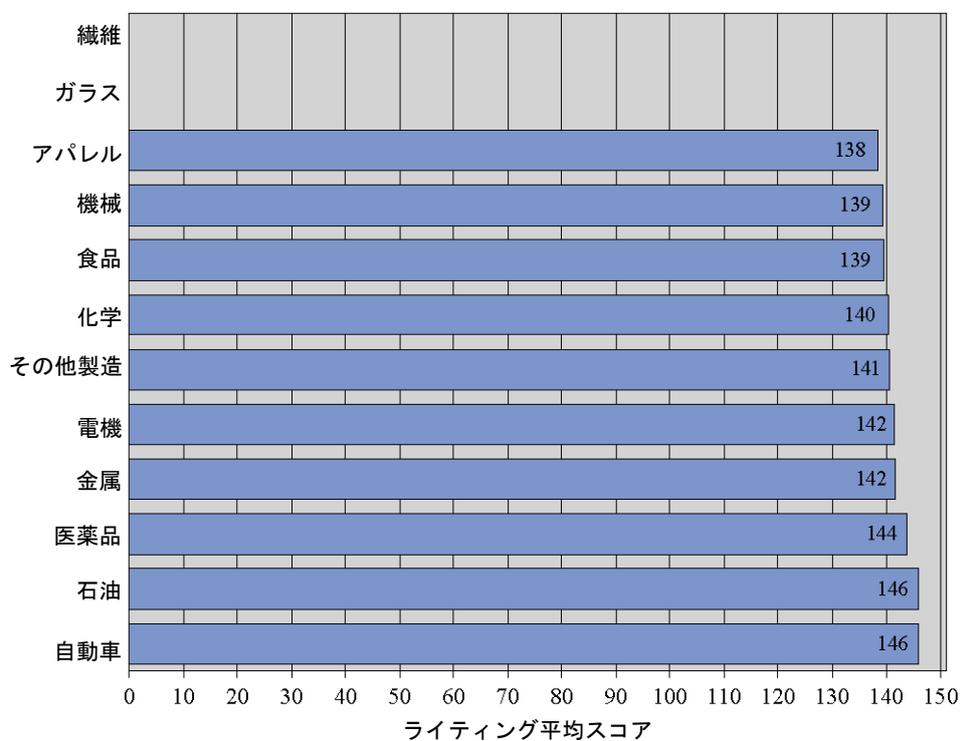


図 22b : 業種別ライティング平均スコア

業種別 TOEIC® Writing Test スコア

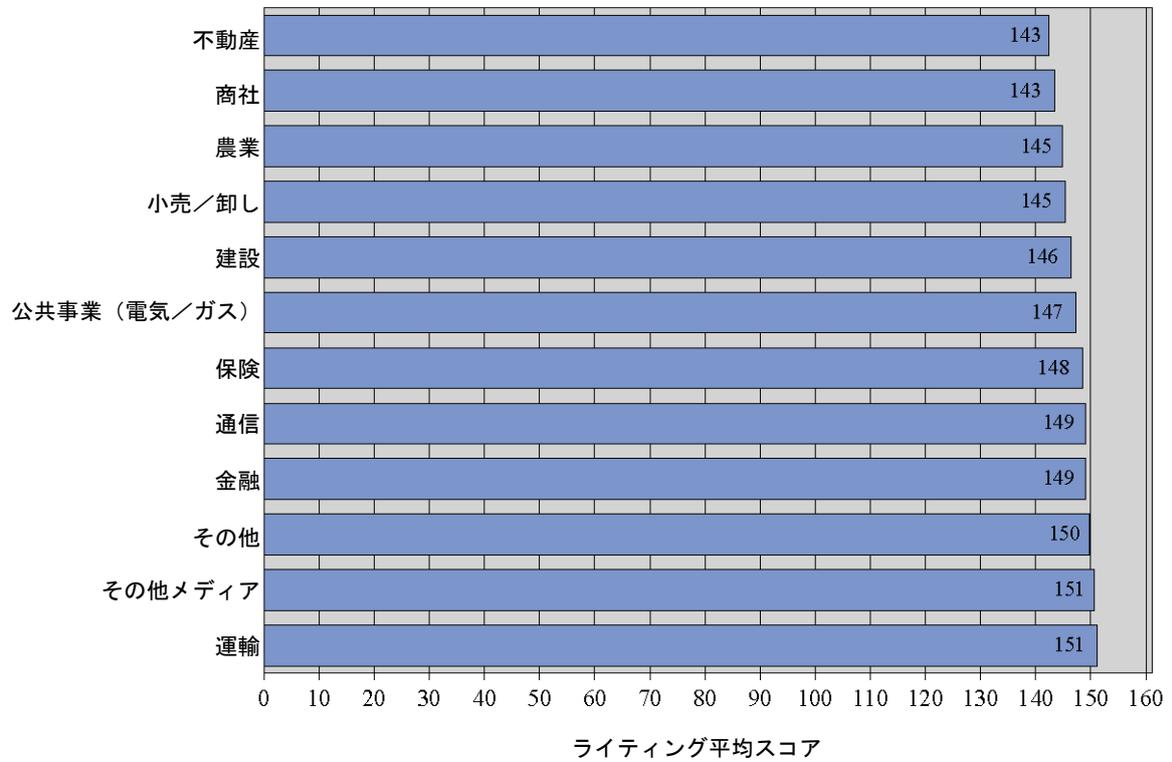


図 22c : 業種別ライティング平均スコア

職種

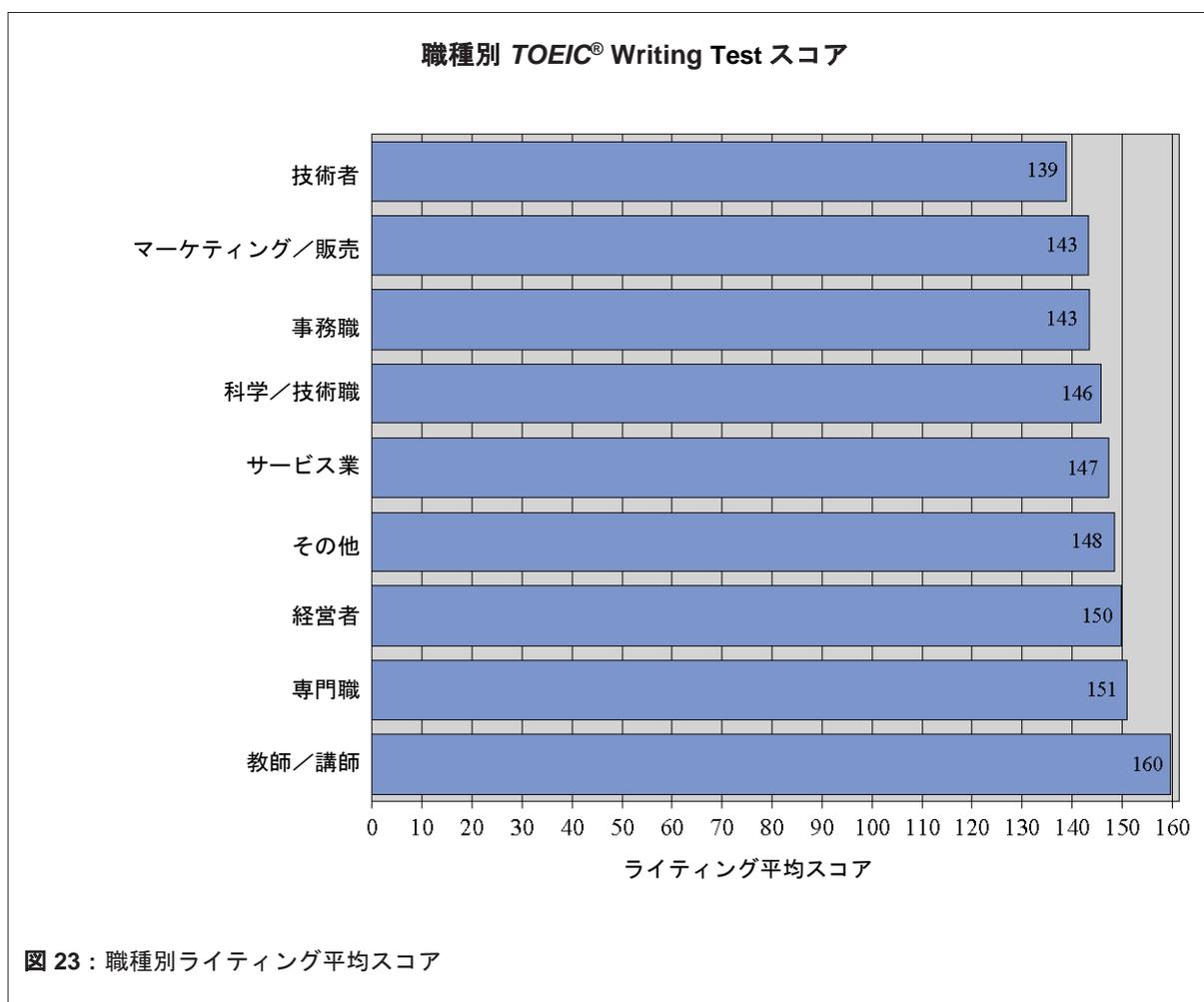
受験者の職種は、国によって大きく異なります。全体で最も多いのは「経営者」（15%）でした。

ニュージーランド（50%）、パナマとエルサルバドル（100%）、そしてベトナム（67%）は経営者の受験者の割合が最も高くなりました。

イタリア（31%）とタイ（36%）では受験者の多くが「科学／技術職」に就いています。韓国

（30%）では受験者の多くが「事務職」に就いています。

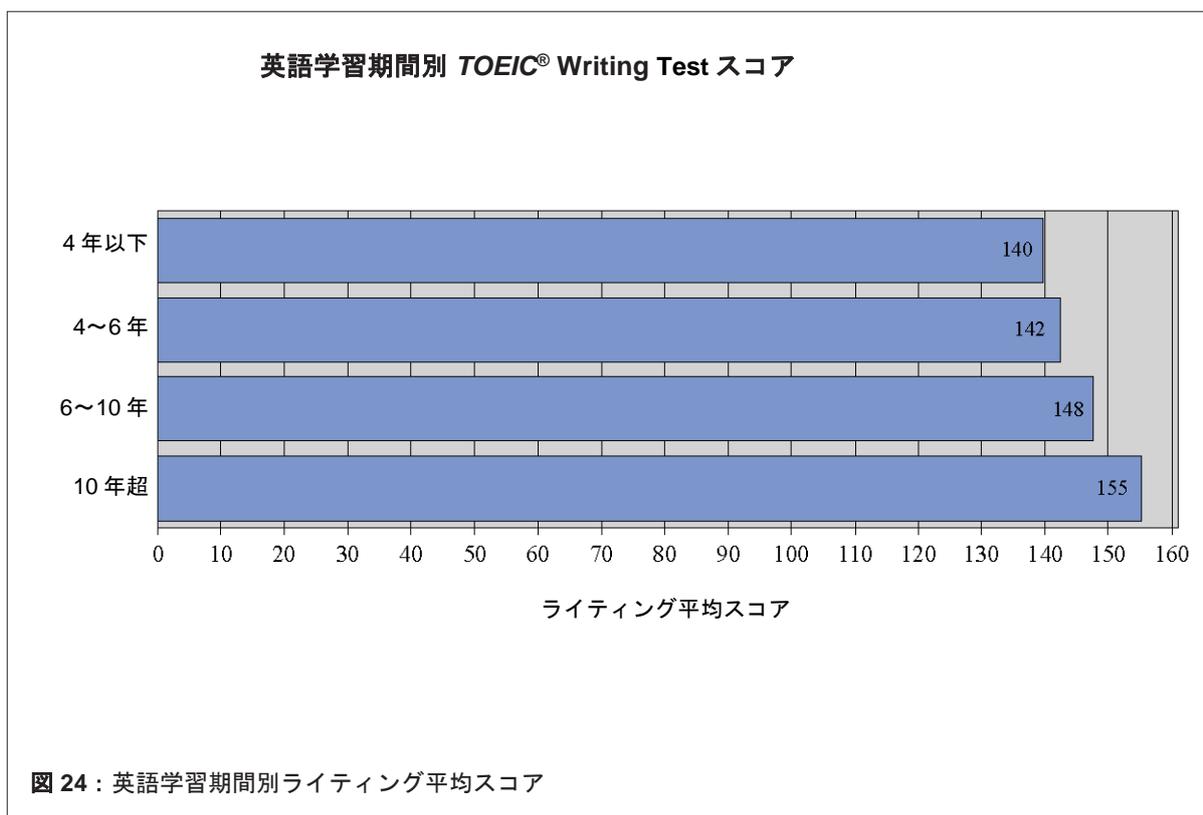
全体で見ると、「教師／講師」では女性（15%）の方が男性（7%）よりも多く、「事務職」または「サービス業」でも女性（34%）の方が男性（20%）より多くなっています。「科学／技術職」では男性（19%）が女性（8%）よりも多くなっています。



英語学習期間

77%の受験者が「6年以上」英語を勉強していました。ただ、ニュージーランド（51%）、パナマとエルサルバドル（100%）、トルコ（32%）、ベトナム（56%）のように、英語学習期間が「4年以下」と回答した受験者が多い国もありました。

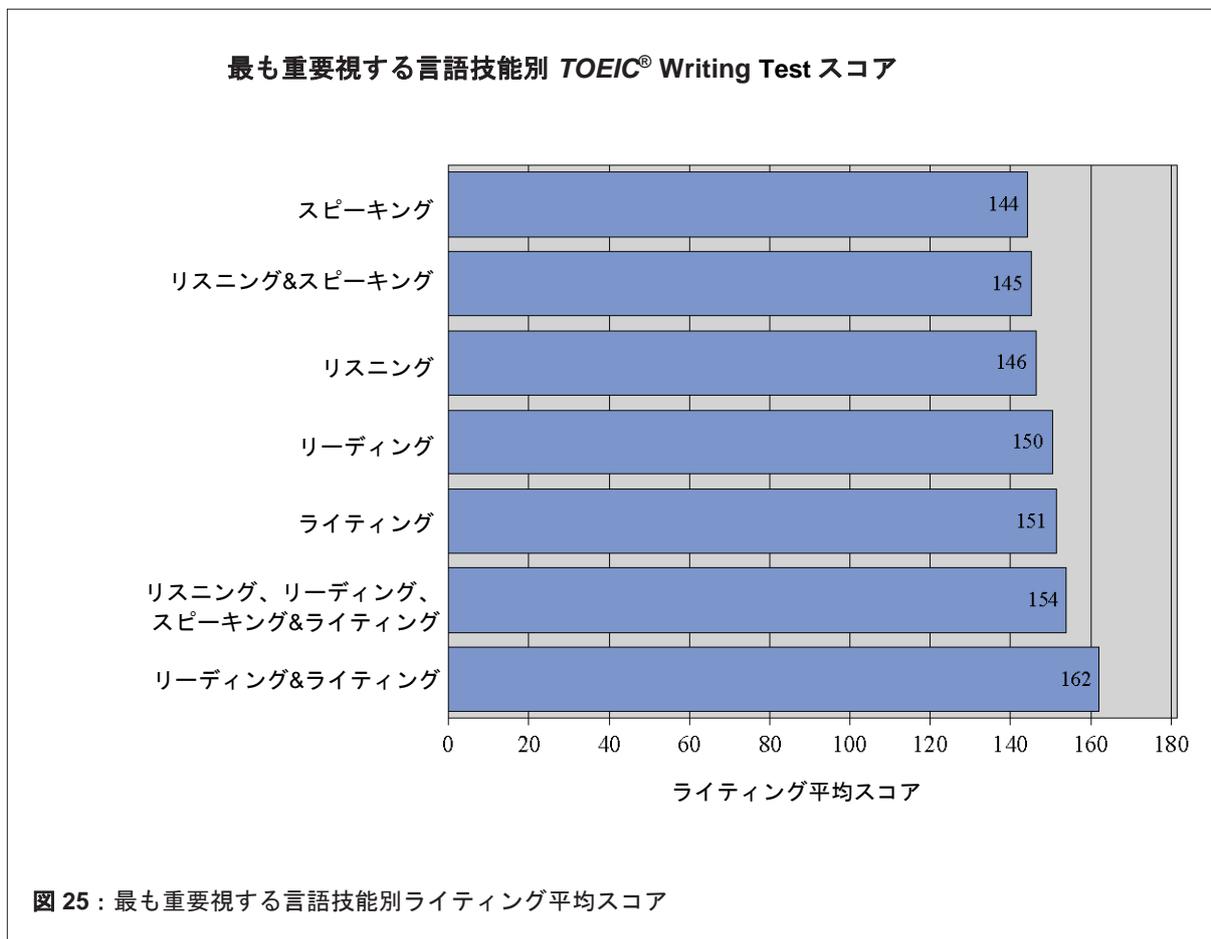
英語学習期間のカテゴリーでは男性の割合と女性の割合に大きな違いはありませんでした。



英語学習の際に最も重要視する言語技能

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。全体の34%が英語の「4技能（リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング）すべて」を重要視すると回答しました。韓国では59%の受験者が英語学習の際に「4技能すべて」を重要視すると回答しました。

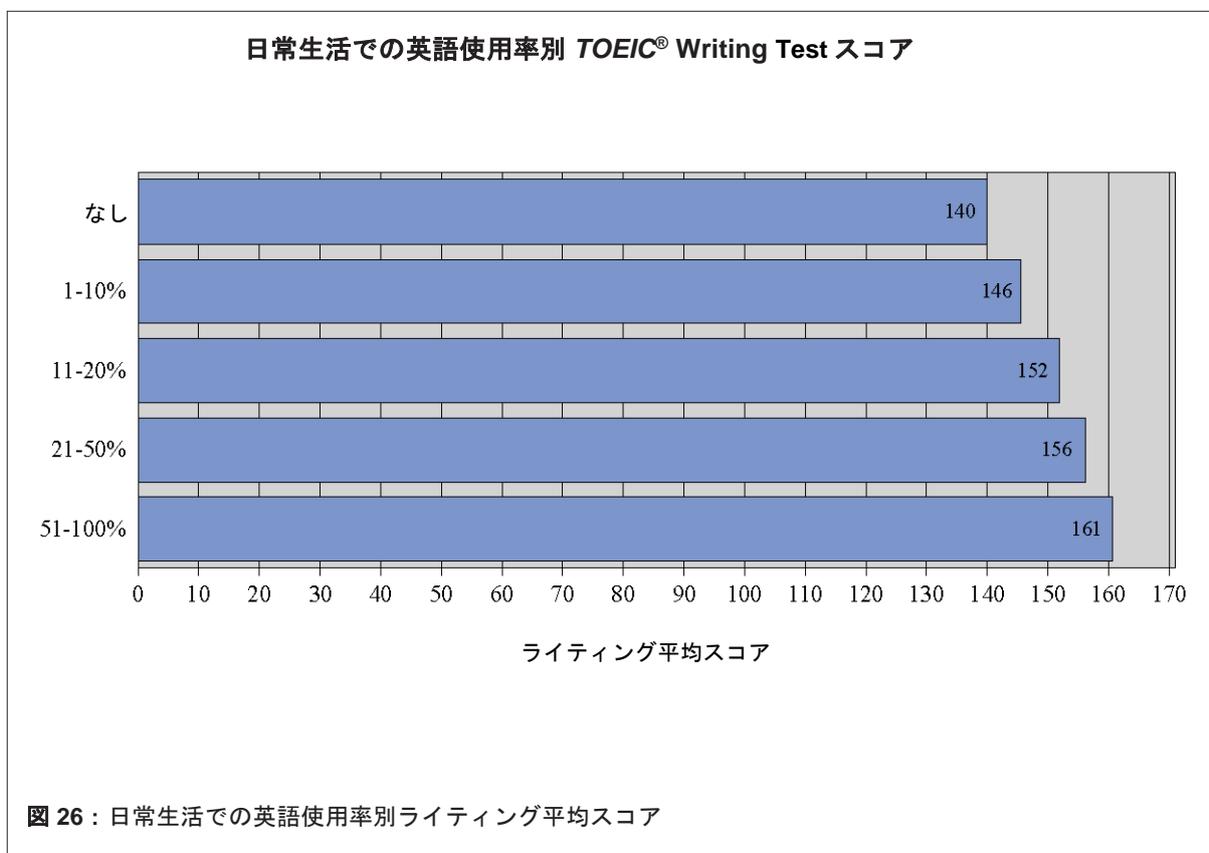
これに対して、最も重要視する技能として「リスニング」を挙げた受験者が多かったのはドイツ（26%）、スペイン（27%）、ハンガリー（30%）、メキシコ（26%）、ニュージーランド（32%）、パナマ（97%）、シンガポール（44%）、エルサルバドル（99%）、ベトナム（54%）です。フランス（23%）では英語学習の際に「リーディングとライティング」を最も重要視すると回答した受験者の割合が最も高くなっています。



日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対して、全体の30%が「1～10%の割合」と回答しました。「1～10%の割合」を選択した受験者が多い国・地域は、中国（42%）、ドイツとトルコ（32%）、スペイン（28%）、フランス（35%）、ハンガリー（51%）、イタリア（31%）、日本とシンガポール（40%）、韓国と台湾（30%）などです。

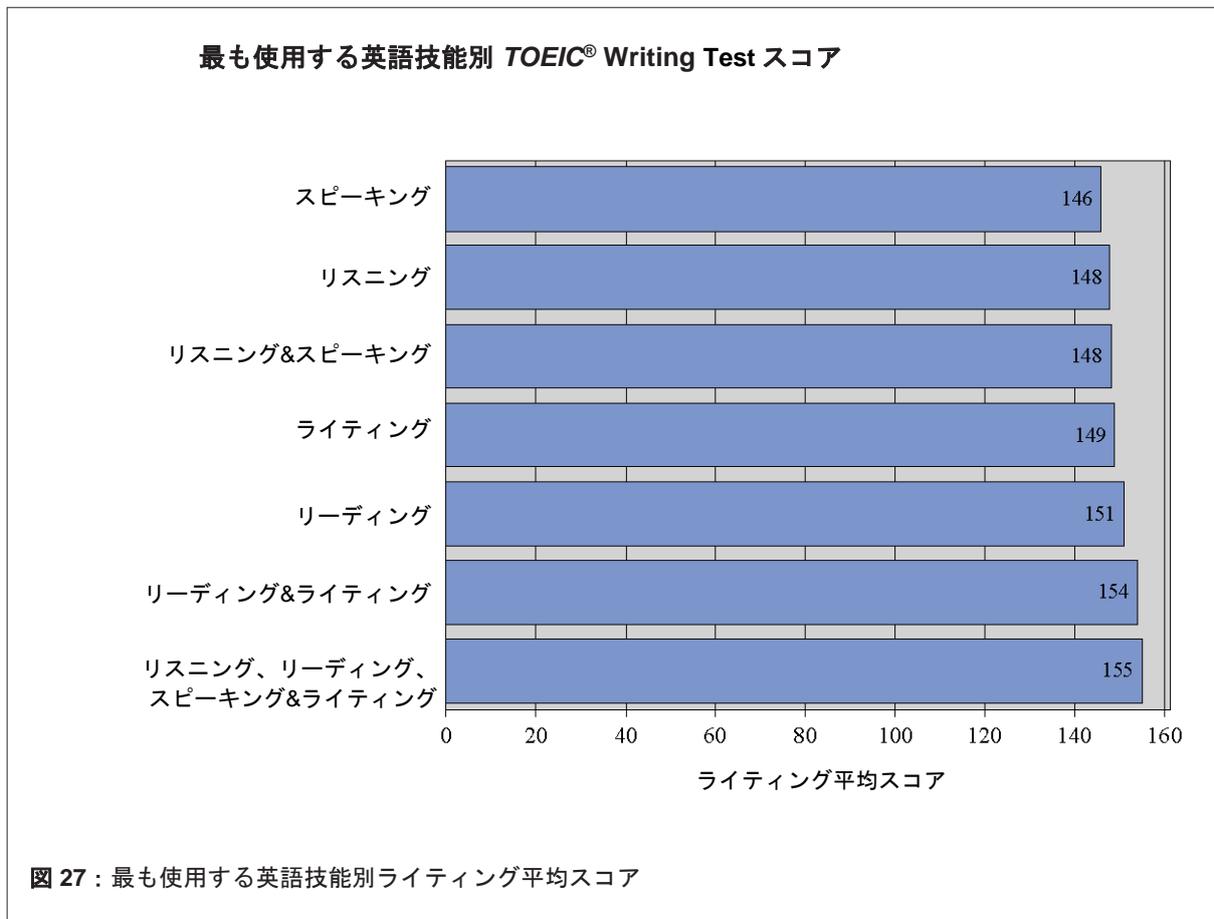
受験者の多くが日常生活で英語を使用しないと回答したのはパナマ（97%）、エルサルバドル（99%）、ベトナム（47%）です。一方、ニュージーランド（57%）とタイ（31%）では「51～100%」の割合で使用すると答えた受験者の割合が最も高くなりました。



最も使用する言語技能

全体の24%が、最も使用する英語技能として「リスニング」を挙げました。パナマ（98%）、エルサルバドル（99%）、ベトナム（56%）は、「リスニング」を挙げた受験者の割合が最も高くなっています。全体の19%が、最も使用する技能として「リーディング」を挙げました。「リーディング」を選択した受験者の割合が特

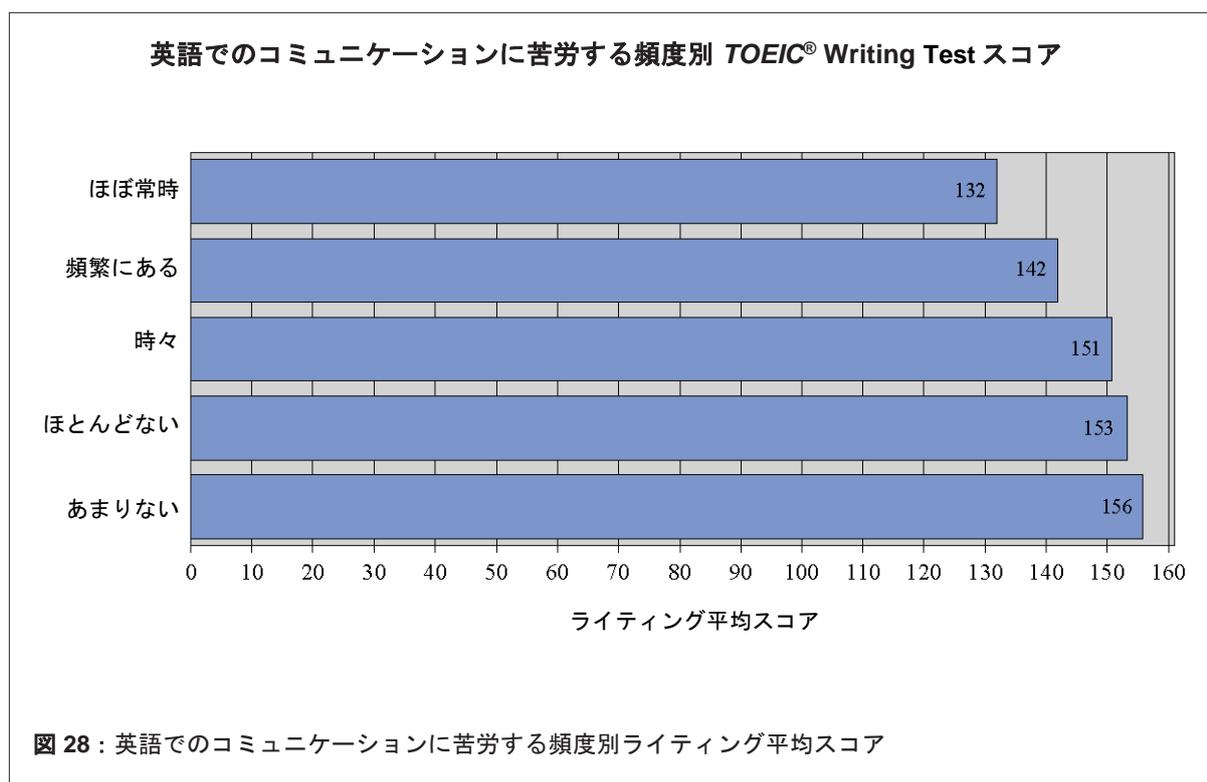
に高い国・地域は中国とタイ（31%）、イタリア（34%）と台湾（32%）でした。「4技能すべて」を使用していると回答した受験者の割合は全体の18%でした。韓国（30%）は「4技能すべて」を頻繁に使用している受験者の割合が高くなっています。



英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対し、全体の43%が「時々」、23%が「あまりない」、16%が「ほとんどない」と答えました。

ハンガリー（53%）、パナマ（98%）、エルサルバドル（99%）、ベトナム（50%）では受験者の多くが「ほとんどない」を選択しました。

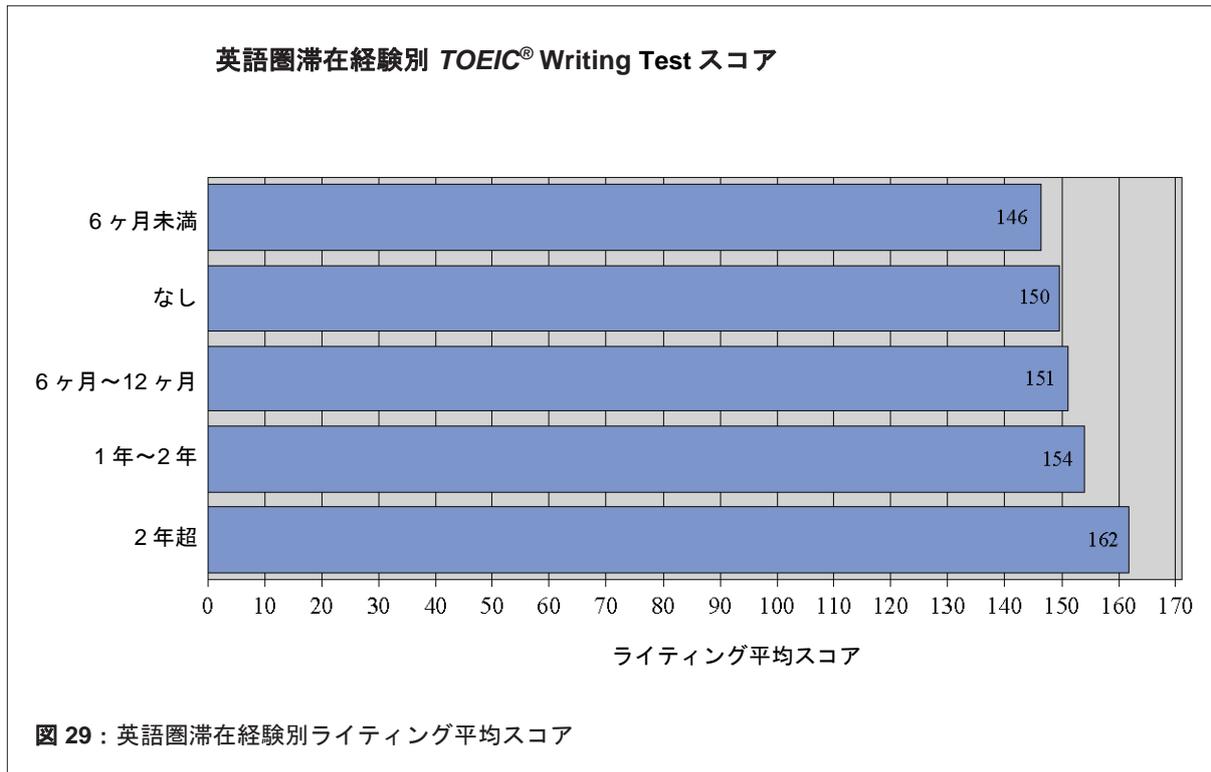


英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国に滞在したことがありますか」という質問に対し、「6ヶ月以上の滞在経験がある」と回答した受験者は全体の23%にとどまり、53%の受験者が、英語圏に滞在し

た経験がないと回答しました。

ハンガリー（49%）とニュージーランド（64%）は、英語圏滞在経験が「6ヶ月超」の受験者の割合が最も高くなっています。



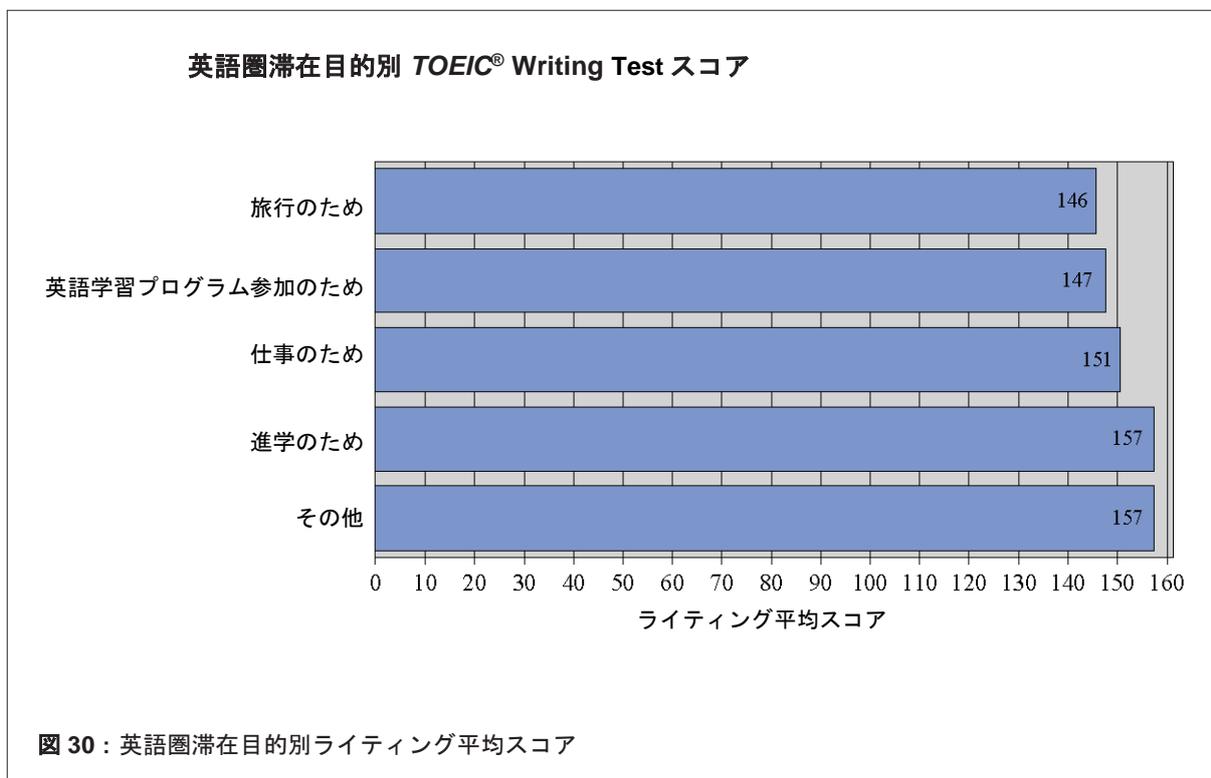
英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に、50%の受験者が「進学のため」もしくは「語学プログラム参加のため」と回答しました。

フィリピンでは受験者の多く（39%）が「旅行のため」英語圏に滞在したと回答しました。コスタリカとエルサルバドル（50%）、中国（40%）、フランス（36%）では「仕事のため」

という回答の割合が最も高くなりました。

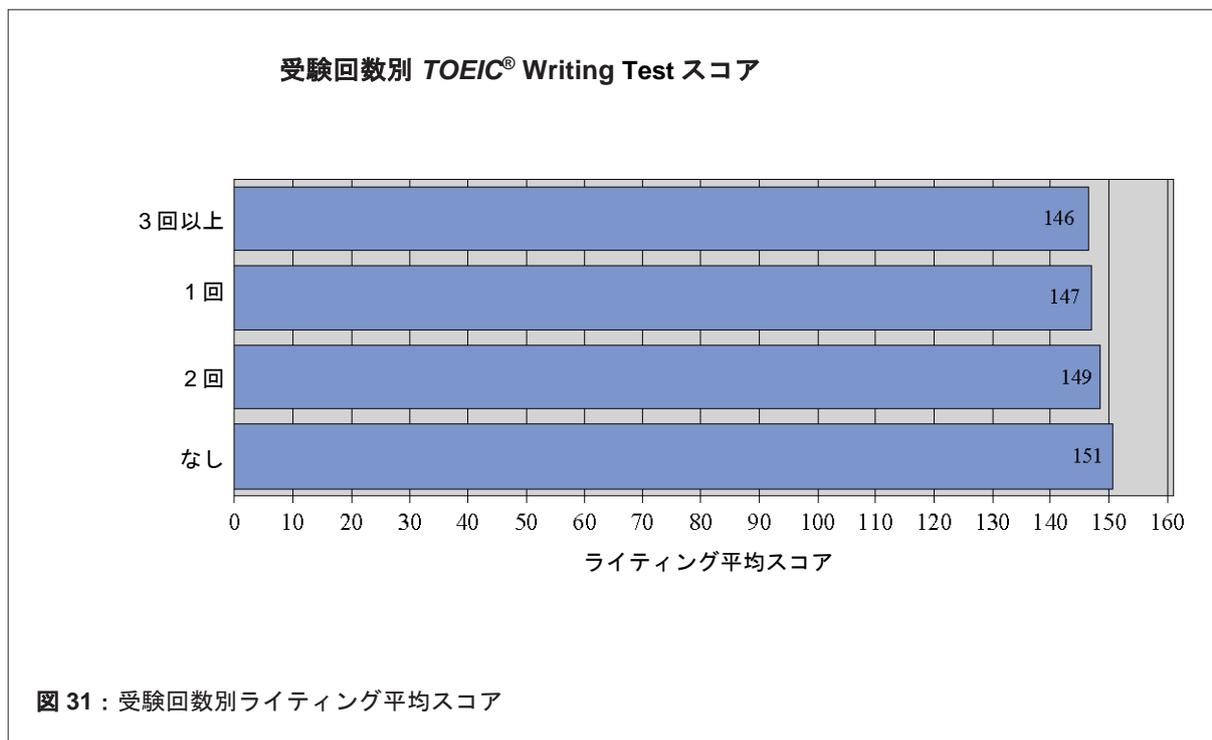
「語学プログラム参加のため」という回答は、男性（20%）より女性（31%）が多くなりました。「仕事のため」と回答した割合は女性（12%）より男性（25%）が高くなりました。



TOEIC® Writing Test の受験経験

過去に TOEIC® Writing test を受験したことがある割合は国によって大きく差が出ました。割合の低い国はコスタリカとパナマ（0%）、割合の高い国は韓国（63%）とニュージーランド（55%）でした。

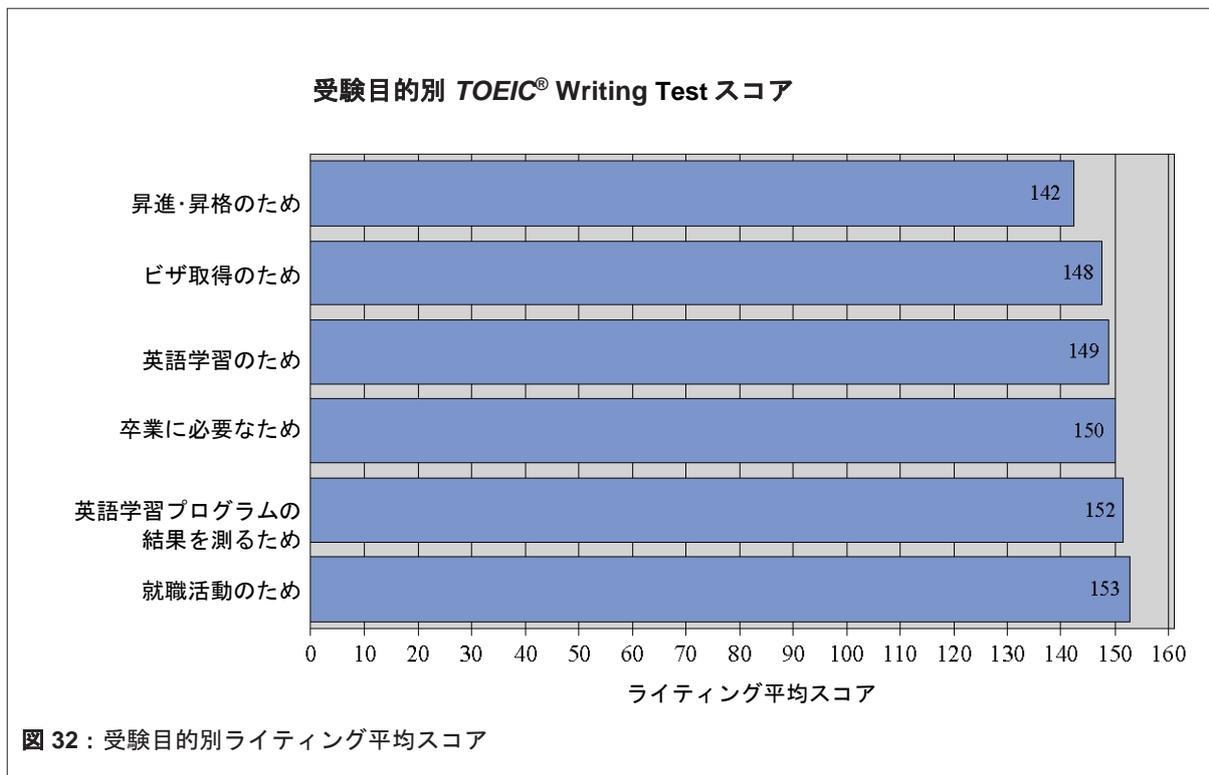
全体として性別で見ると、「これまで受験したことがない」と答えた割合は、男性（62%）より女性（71%）の方が高くなっています。「3回以上」と答えた割合は、女性（8%）より男性（13%）の方が高くなっています。



TOEIC® Writing Test 受験目的

TOEIC® Writing Test の受験目的として多かった回答は「英語学習のため」(27%)で、次に「就職活動のため」(26%)と「卒業に必要なため」(20%)でした。韓国で受験者の多く(51%)が「昇進・昇格のため」に受験したと回答しました。

「昇進・昇格のため」を挙げた割合は、女性(14%)より男性(18%)の方が高くなっています。「卒業のため」を挙げた割合は、男性(17%)より女性(24%)の方が高くなっています。



スピーキングスコアとライティングスコアの関連性

TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の相関値は、両方のテストを受けた受験者のデータに基づく計算によると、約 0.78 でした。(資料 C に、地域別のスピーキング&ライティングの相関値を掲載)。これは 2 つの評価尺度

の間に中程度の相関関係があることを示しています。スピーキングテストとライティングテストはいずれもビジネスコミュニケーションにおける英語能力を測定するものですが、これらのテストはそれぞれ別個の語学技能を測定します。



バックグラウンドアンケート

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は1つのみです。

セクション I.

学歴／職歴

1. 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
 - A. 小学校
 - B. 中学校
 - C. 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル（高校）
 - D. 専門学校／高専
 - E. 専門学校／高専（高校卒業後）
 - F. コミュニティカレッジ／短大（短期大学士）
 - G. 大学（学士号）
 - H. 大学院（修士号または博士号）
 - I. 語学学校
2. 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。
（カッコ内記載の科目は例）
 - A. 教養学（教育、美術、言語、文学、音楽、心理学）
 - B. 社会／法律（国際学、法律、政治、社会学）
 - C. 会計／経営／経済
 - D. 財務／マーケティング／貿易
 - E. 科学（農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計）
 - F. 保健（医療、看護、薬品、公衆衛生）
 - G. 工学／建築
 - H. その他／なし
3. 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
 - A. フルタイム勤務者（個人事業主を含む）
 - B. パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
 - C. 無職（質問6へ）
 - D. 全日制学生（質問6へ）

4. 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇用主の事業は、次のどれが最も近いですか。
 01. 農業／漁業／林業／鉱業
 02. 建築／ビル設計
 03. 製造 - 食品
 04. 製造 - 薬品
 05. 製造 - 化学
 06. 製造 - 繊維／紙
 07. 製造 - 石油／原油／ゴム
 08. 製造 - 鋼鉄／その他金属
 09. 製造 - 機械／精密機械
 10. 製造 - 電機
 11. 製造 - 自動車（あらゆる輸送手段を含む）
 12. 製造 - セメント／ガラス
 13. 製造 - 衣服
 14. 製造 - その他
 15. サービス - 教育（高校レベル以下）
 16. サービス - 教育（短大・カレッジ以上、評価、研究）
 17. サービス - 裁判／法規／地方／県
 18. サービス - 外務
 19. サービス - 軍隊／自衛隊
 20. サービス - 保健／病院／医療研究
 21. サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
 22. サービス - その他
 23. 公共事業（電気／水）
 24. 放送／マスメディア
 25. 通信
 26. 小売／卸売
 27. 商社
 28. 会計／銀行／財務／セキュリティ
 29. 保険
 30. 不動産
 31. 運輸
 32. その他
5. 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。
（カッコ内記載の職種は例）
 - A. 経営者（役員、管理職、理事）
 - B. 科学／技術専門職（エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者）
 - C. 教師／講師
 - D. 専門職（会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士）

資料 A (続き)



バックグラウンドアンケート - ページ 2

- E. 作業技師 (大工、電気技師、設備操作員、配管工)
- F. マーケティング/販売 (為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人)
- G. 事務/総務職 (オフィススタッフ、受付員、秘書)
- H. サービス (カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝)
- I. その他

セクション II.

英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
- A. 4 年以下
 - B. 4~6 年
 - C. 6~10 年
 - D. 10 年超
7. 次のうち、最も重要視する/していた英語の技能はどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング &ライティング
8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
- A. なし
 - B. 1~10%
 - C. 11~20%
 - D. 21~50%
 - E. 51~100%
9. 次の英語技能のうち、最もよく使用するものはどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング &ライティング

10. 英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか。
- A. ほとんどない
 - B. あまりない
 - C. 時々
 - D. 頻繁にある
 - E. ほぼ常時

11. 英語を主言語とする国に滞在したことがありますか。

- A. なし (質問 13 へ)
- B. 6 ヶ月未満
- C. 6 ヶ月~12 ヶ月
- D. 1 年~2 年
- E. 2 年超

12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。

- A. 進学のため (英語学習プログラム以外)
- B. 英語学習プログラム参加のため
- C. 旅行のため (仕事に無関係)
- D. 仕事のため
- E. その他

セクション III.

TOEIC テスト受験経験

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC テストを受験しましたか。

- A. なし
- B. 1 回
- C. 2 回
- D. 3 回以上

14. 今回の TOEIC テストの主な受験目的は何ですか。

- A. 就職活動のため
- B. 昇進・昇格のため
- C. 英語学習プログラムの結果を測るため
- D. 将来の学習ニーズを知るため
- E. 学習中のコース卒業のため

資料 B1

2018 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	89%
2. 専攻科目	89%
3. 就業状況	89%
4. 業種	99%
5. 職種	99%
6. 英語学習期間	88%
7. 最も重要視する言語技能	87%
8. 日常生活での英語使用率	87%
9. 最も使用する英語技能	87%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	87%
11. 英語圏滞在期間	87%
12. 英語圏滞在目的	100%
13. TOEIC テスト受験回数	88%
14. TOEIC テスト受験目的	88%

*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

資料 B2

2018 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各質問項目の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	60%
2. 専攻科目	60%
3. 就業状況	60%
4. 業種	96%
5. 職種	95%
6. 英語学習期間	56%
7. 最も重要視する言語技能	55%
8. 日常生活での英語使用率	55%
9. 最も使用する英語技能	55%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	55%
11. 英語圏滞在期間	55%
12. 英語圏滞在目的	99%
13. TOEIC テスト受験回数	60%
14. TOEIC テスト受験目的	60%

*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

資料 C

地域別スピーキング・ライティングスコアの相関値

地域	相関値
アジア	0.78
ヨーロッパ	0.73
北米	0.59
オセアニア	0.49
南米	0.78



+



 Copyright © 2019 by Educational Testing Service. All rights reserved. ETS, the ETS logo, MEASURING THE POWER OF LEARNING and TOEIC are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS) in the United States and other countries.43537

139191-139191 • UNLWEB1019



Measuring the Power of Learning.[®]

www.ets.org